

令和4年度

# 秋田県公立高等学校入学者選抜実施要項

秋田県教育委員会

## 令和4年度秋田県公立高等学校入学者選抜関係日程

月 日	曜日	事 項	提 出 者	提 出 先	様 式
1/14	金	前期選抜入学願書受付開始	中 学 校 長	志願先高校長	(1)、(4)①、(5)、(6)、(7)、 様式A又は様式B
1/18	火	同上締切り（正午）			
～1/21	金	一次選抜の結果通知	志願先高校長	中 学 校 長	
		前期選抜の日程等通知	志願先高校長	中 学 校 長	
1/27	木	<b>前期選抜学力検査等実施日</b>			
2/1	火	学習成績一覧表提出締切り（正午）	中 学 校 長	高校教育課長	甲表、乙表（持参又は 簡易書留にて提出）
2/4	金	<b>前期選抜合格者発表（午後4時）</b>			
2/10	木	一般選抜入学願書受付開始	中 学 校 長	志願先高校長	(2)、(4)②、(6)、(7)
2/15	火	同上締切り（正午）			
2/17	木	一般選抜志願先変更受付開始	中 学 校 長	志願先高校長	(2)、(4)②、(7)、(9)、 (10)、(11)
2/21	月	同上締切り（正午）			
2/22	火	一般選抜調査書提出開始	中 学 校 長	志願先高校長	<b>様式A又は様式B</b>
2/24	木	同上締切り			
2/25	金	通信制の課程 第一次出願期間	中 学 校 長	志願先高校長	所定用紙
～3/3	木				
2/28	月	保護者の転勤等に係る入学願書受付締切り(正午)			
～3/1	火	一般選抜の面接時間の通知	志願先高校長	中 学 校 長	
3/8	火	<b>一般選抜学力検査等実施日</b>			
3/9	水	通信制の課程 第一次面接実施日			
3/11	金	一般選抜学力追検査等実施日			
3/11	金	通信制の課程 第一次合格者発表			
3/16	水	<b>一般選抜合格者発表（午後1～4時）</b>			
3/18	金	2次募集入学願書受付開始	中 学 校 長	志願先高校長	(3)、(4)③、(7)、 <b>様式A</b> 又は <b>様式B</b>
3/19	土	同上締切り（午前11時）			
3/22	火	通信制の課程 第二次出願期間	中 学 校 長	志願先高校長	所定用紙
～3/28	月				
3/23	水	<b>2次募集面接等実施日</b>			
3/25	金	<b>2次募集合格者発表（午後1～4時）</b>			
3/30	水	通信制の課程 第二次面接実施日			
4/1	金	通信制の課程 第二次合格者発表			

# 目 次

□ 前期、一般の各選抜に共通すること	1
Ⅰ 全日制の課程	2
1 前期選抜	2
2 一般選抜	4
【2次募集】	7
Ⅱ 定時制の課程	8
1 前期選抜	8
2 一般選抜	8
【2次募集】	9
Ⅲ 通信制の課程	10
Ⅳ 付記	11
付記1 保護者の転勤等に係る出願	11
付記2 本県と青森県、岩手県の県境隣接地域居住者の出願	12
付記3 海外帰国生徒等入学者選抜に係る出願	16
付記4 受検に際して特別な配慮を必要とする障害等のある生徒の出願	17
Ⅴ 諸用紙	18
様式(1) 前期選抜入学願書	18
様式(2) 一般選抜入学願書	19
様式(3) 2次募集入学願書	20
様式(4) 受検票	21
様式(5) 志願理由書	22
様式(6) 証紙納付書	23
様式(7) 受検者名簿	24

様式(8)	傾斜配点教科申告書	25
様式(9)	志願先変更願書	26
様式(10)	志願先変更証明書	26
様式(11)	志願学科変更願書	27
様式(12)	海外帰国生徒等入学者選拔出願承認願	28
様式(13)	海外在住状況報告書	29
様式(14)	受検票発行台帳	30
様式(15)	入学検定料領収済証明書	30
様式(16)	受検に係る特別配慮申請書	31
様式(17)	受検に係る特別配慮通知書	32
*	出願手続	33
*	志願先変更手続	34
VI	調査書及び学習成績一覧表作成要領	35
	〔付表〕学習成績一覧表	39
VII	別表	40
	〔別表1〕令和4年度秋田県公立高等学校募集定員等	40
	〔別表2〕前期選抜における出願の条件及び配点等	42
	〔別表3〕2次募集における作文及び実技	57
	〔別表4〕一般選抜学力検査における傾斜配点実施校	58
	調査書(様式A)	59
	調査書(様式B)	60

# 令和4年度秋田県公立高等学校入学者選抜実施要項

秋田県立各高等学校及び秋田市立各高等学校（以下「高等学校」という。）の令和4年度入学者選抜（前期選抜、一般選抜）は、本要項によって実施する。

## □ 前期、一般の各選抜に共通すること

### 1 くくり募集と部

(1) 次の高等学校において、くくり募集を実施する。

大館鳳鳴高等学校、能代高等学校、秋田高等学校、横手高等学校及び湯沢高等学校の普通科と理数科、大館桂桜高等学校の普通科と生活科学科、能代松陽高等学校の普通科と国際コミュニケーション科、由利高等学校の普通科と理数科と国際科、六郷高等学校の普通科と福祉科、能代科学技術高等学校の機械科と電気科と建設科、生物資源科と生活福祉科。

入学願書の「志願学科」欄には、「普通・理数」又は「普通・生活科学」又は「普通・国際コミュニケーション」又は「普通・理数・国際」又は「普通・福祉」又は「機械・電気・建設」又は「生物資源・生活福祉」と記入すること。

(2) 大館鳳鳴高等学校定時制の課程の普通科Ⅰ部（昼間の部）、普通科Ⅱ部（夜間の部）、秋田明徳館高等学校定時制の課程の普通科Ⅰ部（午前の部）、普通科Ⅱ部（午後の部）、普通科Ⅲ部（夜間の部）、角館高等学校定時制の課程の普通科Ⅰ部（午前の部）、普通科Ⅱ部（午後の部）及び横手高等学校定時制の課程の普通科Ⅰ部（昼間の部）、普通科Ⅱ部（夜間の部）の志願に当たっては、各部を学科とみなして取り扱う。

なお、諸用紙の志願学科の記入に当たっては、各部名（Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ部）まで記入すること。

### 2 調査書と学習成績一覧表

中学校長は、高等学校入学志願者について必要事項を記載した調査書（様式A又は様式B）を、選抜ごとに志願先高等学校長に提出する。

学習成績一覧表（39ページ）は、令和4年2月1日（火）正午まで、高校教育課長あて提出する。ただし、卒業した者及び県外からの志願者については提出を要しない。

調査書は、令和4年3月中学校卒業見込みの者については様式Aを令和3年12月31日現在で記載し、令和3年3月以前の中学校卒業生については様式Bを卒業年度末現在で記載するものとする。

なお、調査書及び学習成績一覧表の作成については、「Ⅵ 調査書及び学習成績一覧表作成要領」（35ページ）によるものとする。

### 3 入学検定料

全日制の課程は2,200円、定時制の課程は950円である。

県立高等学校については、出願の際に、秋田県証紙（消印のないもの）を貼った証紙納付書（様式(6)）により納付する。出願書類を中学校で一括して提出する場合には、入学検定料を一括した秋田県証紙を証紙納付書（全日制の課程、定時制の課程別）に貼って提出する。

### 4 ホームページでの情報提供

入学者選抜に関する各高等学校の情報は、令和3年9月30日（木）までに、確定したものを各校のホームページで公開する。また、志願状況等についても随時公開する。

### 5 秋田市立御所野学院高等学校の入学者選抜

秋田市立御所野学院中学校3年生を対象とする学校独自の連携型中高一貫入学者選抜が前期選抜と同日に実施される。連携型中高一貫入学者選抜については、秋田市教育委員会のホームページを参照のこと。

---

## 1 前期選抜

---

### 1 募集人員

- (1) 募集人員については、〔別表1〕(40ページ)のとおりとする。
- (2) 県外居住者の入学者数は、各学科の募集定員の10%を上限とする。

### 2 出願資格

次の(1)と(2)に該当する者とする。県外居住者も出願することができる。

- (1) 中学校又はこれに準ずる学校(以下「中学校」という。)を令和4年3月卒業見込みの者  
(中学校には中等教育学校前期課程及び義務教育学校後期課程を含み、中学校に準ずる学校とは特別支援学校中学部等である。)
- (2) 高等学校が示す「出願の条件」(42ページ〔別表2〕)を満たしている者

### 3 出願手続

- (1) 出願は一人1校(分校や地域校も1校とする)1学科に限るものとする。
- (2) 出願手続は中学校長を経て行う。志願先高等学校長に提出する書類は次のとおりとする。  
(33ページ)。

ア 前期選抜入学願書(様式(1))

イ 前期選抜受検票(様式(4)①)

ウ 志願理由書(様式(5))

エ 調査書(様式A)

オ 証紙納付書(様式(6))

カ 前期選抜受検者名簿(様式(7))2部

キ 県外居住者は、秋田県公立高等学校以外の公立高等学校に志願しない旨の中学校長の証明書(公立高等学校に既に出願している者又は合格等している者は当該高等学校長の発行する志願取消証明書又は合格等取消証明書)(様式自由)

ク 志願先高等学校が独自に提出を求めている書類がある場合には、志願先高等学校が定める書類

※ 中学校は、ウ及びクについて、各種大会等の実績や資格等の取得歴、ボランティア活動等の活動歴など、その内容に誤りがないかどうかを確認すること。

- (3) 高等学校長は、受検票発行台帳(様式(14))を作成し、入学願書提出者に受検票(様式(4)①)を交付する。
- (4) 入学願書受付締切り後、各高等学校の志願者数を公表する。

### 4 一次選抜と二次選抜

各高等学校は、各学科の志願者が募集人員の3倍を超えた場合に、一次選抜と二次選抜に分けることができる(42ページ〔別表2〕)。一次選抜では、令和4年1月21日(金)までに募集人員の3倍を調査書等の書類審査により選抜する。二次選抜では、学力検査等実施日に一次選抜合格者に学力検査又は口頭試問、及び面接等を実施する。

一次選抜不合格者に対しては、「入学検定料領収済証明書」(様式(15))を発行する。一般選抜への出願に当たっては、「入学検定料領収済証明書」の提出で入学検定料の納付に代えることができる。

## 5 出願及び学力検査等の期日

### (1) 出願書類の提出期間

令和4年1月14日（金）から1月18日（火）までとする。受付時間は、午前9時から午後4時までとし、最終日は正午までとする。ただし、土曜日、日曜日は受付しない。

(2) 一次選抜を実施した場合、当該高等学校長は令和4年1月21日（金）までに、一次選抜の結果について中学校長に文書で通知する。

(3) 高等学校長は、令和4年1月21日（金）までに、前期選抜の日程及び各志願者の面接時間等について中学校長に文書で通知する。

### (4) 学力検査等実施日

令和4年1月27日（木）

## 6 選抜方法

学力検査又は口頭試問、及び面接を課す。また、希望する学校においては作文、実技を実施することができる（42ページ〔別表2〕）。

入学者の選抜は、高等学校長が、調査書、志願理由書、学力検査又は口頭試問の成績、面接等の評価に関する資料及びその他必要な書類等によって総合的に行う。

## 7 学力検査又は口頭試問

### (1) 学力検査を行う場合

- ① 学力検査は、国語、数学、英語の3教科とし、受検者に対し、同一問題で一斉に行う。
- ② 出題は、「令和4年度秋田県公立高等学校入学者選抜学力検査問題作成方針」によるものとする。
- ③ 学力検査等の日程は次のとおりとする。

	第1時	第2時	第3時	昼食	昼食 終了後
検査時間	8:50～ 9:35	9:55～ 10:40	11:00～ 11:45	11:45～ 12:30	
教科	国語	数学	英語		面接等

- ④ 学力検査等の会場は志願先高等学校とする。ただし、分校や地域校を志願する場合は当該分校又は地域校とする。
- ⑤ 受検者は、学力検査開始30分前（午前8時20分）までに出校し、受検票を受付に提示するとともに、次の物を携行して検査室に入るものとする。  
受検票、黒鉛筆（シャープペンシルも可。ただし、黒い芯に限る。）、消しゴム、小型鉛筆削り具、三角定規又は直線定規、コンパス。  
なお、分度器付きの定規、計算機能や辞書機能をもつ時計、電卓及び電子辞書は携行してはならない。  
また、携帯電話等の通信機器を持参している場合は、検査会場においては電源を切るものとし、検査室に持ち込むことを禁止する。
- ⑥ 各教科の検査開始後30分以上経過した時点で、体調不良等により退室した場合は、その教科の検査は終了したものとみなす。

### (2) 口頭試問を行う場合

- ① 口頭試問は、国語、数学、英語の3教科とする。
- ② 口頭試問等の日程は、各校が定めるものとする。
- ③ 口頭試問及び面接等の会場は志願先高等学校とする。ただし、分校や地域校を志願する場合は当該分校又は地域校とする。

## 8 合格者発表

令和4年2月4日（金）午後4時に各校において、合格者の受検番号を発表する。また、合格者発表の1時間後を目処に各校のホームページに合格者の受検番号を公開する。

---

## 2 一般選抜

---

### 1 募集人員

募集人員については、〔別表1〕(40ページ)のとおりとする。

ただし、前期選抜の合格者が募集人員に満たない場合は、その分を加えた募集人数とする。

※ 秋田市立御所野学院高等学校については、前期選抜及び連携型中高一貫入学者選抜の合格者が、それぞれの募集人員に満たない場合は、その分を加えた募集人数とする。

### 2 出願資格

次の(1)又は(2)に該当し、前期選抜で合格していない者とする。

- (1) 中学校若しくはこれに準ずる学校（以下「中学校」という。）を令和4年3月卒業見込みの者又は卒業した者  
（中学校には中等教育学校前期課程及び義務教育学校後期課程を含み、中学校に準ずる学校とは特別支援学校中学部等である。）
- (2) 学校教育法施行規則（昭和22年5月23日文部省令第11号）第95条の規定に該当する者

### 3 出願手続

- (1) 出願は一人1校（分校や地域校も1校とする）に限るものとする。
- (2) 設置学科が二つ以上ある高等学校に志願する場合  
原則として、その学校の設置学科のうち、2学科まで志願することができる。2学科まで志願する場合は、入学願書に第一志願学科、第二志願学科を記入すること。
- (3) 全日制の課程と定時制の課程を併置する高等学校に志願する場合  
全日制の課程（又は定時制の課程）の学科を第一志願とし、定時制の課程（又は全日制の課程）の学科を第二志願とすることができる。
- (4) 出願手続は中学校長を経て行う。志願先高等学校長に提出する書類は次のとおりとする（33ページ）。
  - ア 一般選抜入学願書（様式(2)）
  - イ 一般選抜受検票（様式(4)②）
  - ウ 証紙納付書（様式(6)）
  - エ 一般選抜受検者名簿（様式(7)）2部
  - オ 傾斜配点を実施する学校（58ページ〔別表4〕）のうち、傾斜配点教科を志願者の申告により決定する学科を志願する者は、傾斜配点教科申告書（様式(8)）
  - カ 「2 出願資格」の(2)に該当する者は、出身中学校長の卒業若しくは修了の証明書又はこれに代わる書類
- (5) 高等学校長は、受検票発行台帳（様式(14)）を作成し、入学願書提出者に受検票（様式(4)②）を交付する。
- (6) 入学願書受付締切り後、各高等学校の志願者数を公表する。

### 4 県外居住者の出願

- (1) 県外居住者で、保護者の転勤等の特別な事情があって、本県の高等学校を志願する場合は、付記1（11ページ）による。
- (2) 隣接県の県境隣接地域居住者が本県の高等学校を志願する場合は、付記2（12ページ）による。



## 5 志願先の変更

志願先の変更は志願先変更期間内に認めるが、手続は次の要領による（34ページ）。

### (1) 他校への変更

中学校長は、先に交付された一般選抜受検票を貼った志願先変更願書（様式(9)）を志願先高等学校長に提出し、志願先変更証明書（様式(10)）の交付を受ける。交付された志願先変更証明書に新しい入学願書（様式(2)）、一般選抜受検票（様式(4)②）及び一般選抜受検者名簿（様式(7)）を添付して、変更先高等学校長に提出し、新しい一般選抜受検票の交付を受ける（入学検定料は不要）。

### (2) 同一学校内の変更

#### ① 第一志願学科を変更する場合

中学校長は、志願先高等学校長に、志願学科変更願書（様式(11)、先に交付された一般選抜受検票を貼る。）及び一般選抜受検票（様式(4)②）を提出する。志願先高等学校長は、それに基づいて、当該生徒の先に提出された入学願書の志願学科を書き換えるとともに、新しい一般選抜受検票を交付する（入学検定料は不要）。

#### ② 第二志願学科等を変更又は新規に追加する場合

中学校長は、志願先高等学校長に、志願学科変更願書（様式(11)、先に交付された一般選抜受検票は貼らない。）を提出する。志願先高等学校長は、それに基づいて、当該生徒の先に提出された入学願書の志願学科を書き換えるか、又は新規の志願学科を書き加える（入学検定料は不要）。

### (3) 定時制の課程から全日制の課程へ変更する場合

前記(1)の「他校への変更」の際に提出する書類のほかに、先の志願先高等学校長から入学願書の写し（原本証明したもの）の交付を受け、変更後の志願先高等学校長に提出する。

入学検定料は差額分（1,250円）を秋田県証紙により納付すること。

### (4) 県外の県境隣接地域の県立高等学校へ志願し、県内公立高等学校へ変更する場合

最初に県外の県境隣接地域の県立高等学校へ志願し、志願先を変更して県内公立高等学校に志願する場合は、(1)の手続によらず、最初の志願先高等学校長から志願辞退証明書（様式自由）の発行を受け、その志願辞退証明書を添付して「3 出願手続」（4ページ）により出願手続を行う（15ページ）。

### (5) 志願先変更期間内の変更は1回のみとし、再変更は認めない。

## 6 出願及び学力検査等の期日

### (1) 出願書類の提出期間

令和4年2月10日（木）から2月15日（火）正午まで

### (2) 志願先変更期間

令和4年2月17日（木）から2月21日（月）正午まで（ただし、志願先変更締切り後の保護者の転勤等に伴う場合は2月28日（月）正午まで）

※ (1)、(2)の受付時間は、午前9時から午後4時までとし、最終日は正午までとする。ただし、土曜日、日曜日、祝日は受付しない。

### (3) 学力検査等実施日

令和4年3月8日（火）

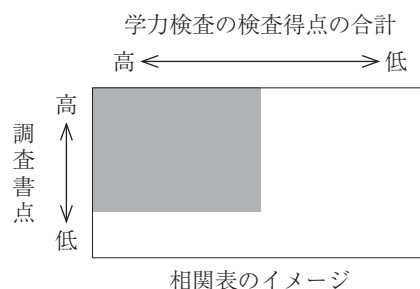
## 7 選抜方法

学力検査及び面接を課す。

入学者の選抜は、高等学校長が、次の(1)と(2)に基づき、総合的に判断して選抜する。

- (1) 学力検査の検査得点の合計と調査書点（調整評定値又は定時制調整評定値）を基に、各高等学校で作成した相関表
- (2) 調査書の記載内容及び面接の評価に関する資料

志願先を変更した者と、その学校へ最初から志願した者とは同等に取り扱うものとする。



相関表のイメージ  
 ※調査書の記載内容及び面接の評価を用いて、網かけの部分から総合的に判断して選抜する。  
 ※網かけの範囲は、各高等学校で定める。

## 8 調査書

中学校長は、高等学校入学志願者について必要事項を記載した調査書（様式A又は様式B）を令和4年2月22日（火）から2月24日（木）までに志願先高等学校長に提出するものとする。

「2 出願資格」の(2)に該当する者については、志願者の生徒指導要録の写し又はこれに代わる書類を在学（出身）学校長から志願先高等学校長に提出すること。

## 9 学力検査

- (1) 学力検査は、国語、社会、数学、理科、英語の5教科とし、受検者に対し、同一問題で一斉に行う。
- (2) 出題は、「令和4年度秋田県公立高等学校入学者選抜学力検査問題作成方針」によるものとする。
- (3) 学力検査等の日程は次のとおりとする。

	第1時	第2時	第3時	昼食	第4時	第5時	学力検査 終了後
検査時間	8:50～ 9:50	10:10～ 11:10	11:30～ 12:30	12:30～ 13:15	13:15～ 14:05	14:25～ 15:15	
教科	国語	数学	英語		理科	社会	面接

- (4) 学力検査会場は志願先高等学校とする。ただし、分校や地域校を志願する場合は当該分校又は地域校とする。
- (5) 受検者は、学力検査開始30分前（午前8時20分）までに出校し、受検票を受付に提示するとともに、次の物を携行して検査室に入るものとする。  
 受検票、黒鉛筆（シャープペンシルも可。ただし、黒い芯に限る。）、消しゴム、小型鉛筆削り具、三角定規又は直線定規、コンパス。  
 なお、分度器付きの定規、計算機能や辞書機能をもつ時計、電卓及び電子辞書は携行してはならない。  
 また、携帯電話等の通信機器を持参している場合は、検査会場においては電源を切るものとし、検査室に持ち込むことを禁止する。
- (6) 国語、数学、英語の検査開始後40分以上、又は理科、社会の検査開始後35分以上経過した時点で体調不良等により退室した場合は、その教科の検査は終了したものとする。

## 10 面接

- (1) 学力検査終了後、志願先高等学校において実施する。
- (2) 高等学校長は、令和4年3月1日（火）までに、各志願者の面接時間について中学校長に文書で通知する。

## 11 合格者発表

令和4年3月16日（水）午後1時から午後4時までの間で、各高等学校が定めた時刻に各校において、合格者の受検番号を発表する。また、合格者発表の1時間後を目処に各校のホームページに合格者の受検番号を公開する。なお、各高等学校の合格者発表時刻は、令和3年9月30日（水）までに各校のホームページに公開する。

## 【2 次 募 集】

### 1 実施学科及び募集人数

一般選抜を終了した時点で、前期選抜と一般選抜の合格者の計が募集定員に満たない学科において2次募集を行う。募集人数は、当該学科の募集定員までの人数とする。

### 2 出願資格

原則として、秋田県公立高等学校の一般選抜を受検し、合格していない者とする。

### 3 出願手続

(1) 出願は一人1校（分校や地域校も1校とする）に限るものとする。

(2) 出願する学校において、2次募集を実施する学科が二つ以上ある場合の第二志願等については、4ページの「3 出願手続」に準ずるものとする。

(3) 出願手続は中学校長を経て行う。志願先高等学校長に提出する書類は次のとおりとする（33ページ）。

ア 2次募集入学願書（様式(3)）

イ 2次募集受検票（様式(4)③）

ウ 調査書（**様式A**又は**様式B**）

エ 2次募集受検者名簿（様式(7)）2部

オ 4ページの「2 出願資格」の(2)に該当する者は、在学（出身）学校長の卒業若しくは修了の証明書又はこれに代わる書類

カ 一般選抜で定時制の課程を受検し、2次募集で全日制の課程を志願する者は、証紙納付書（様式(6)）

※ 入学検定料は差額分（1,250円）を秋田県証紙により納付すること。

(4) 高等学校長は、受検票発行台帳（様式(14)）を作成し、入学願書提出者に受検票（様式(4)③）を交付する。

(5) 入学願書受付締切り後、各高等学校の志願者数を公表する。

### 4 県外居住者の出願

(1) 県外居住者で、保護者の転勤等の特別な事情があって、本県の高等学校を志願する場合は、付記1（11ページ）による。

(2) 隣接県の県境隣接地域居住者が本県の高等学校を志願する場合は、付記2（12ページ）による。

### 5 出願及び面接等の期日

(1) 出願書類の提出期間

令和4年3月18日（金）から3月19日（土）までとする。受付時間は、午前9時から午後4時までとし、最終日は午前11時までとする。

(2) 面接等実施日

令和4年3月23日（水）

受検者は、志願先高等学校に午前9時までに出勤し、受検票を受付に提示するものとする。

### 6 選抜方法

面接を課す。また、希望する学校においては作文、実技を実施することができる（57ページ〔別表3〕）。

入学者の選抜は、高等学校長が、調査書、一般選抜で実施した学力検査の成績、面接等の評価に関する資料及びその他必要な書類等によって総合的に行う。

### 7 合格者発表

令和4年3月25日（金）午後1時から午後4時までの間で、各高等学校が定めた時刻に各校において、合格者の受検番号を発表する。また、合格者発表の1時間後を目処に各校のホームページに合格者の受検番号を公開する。なお、各高等学校の合格者発表時刻は、令和3年9月30日（木）までに各校のホームページに公開する。

## Ⅱ 定時制の課程

---

### 1 前期選抜

---

#### 1 募集人員

募集人員については、〔別表1〕(41ページ)のとおりとする。

#### 2 出願資格

次の(1)と(3)、又は(2)と(3)に該当する者とする。県外居住者も出願することができる。

- (1) 中学校若しくはこれに準ずる学校（以下「中学校」という。）を令和4年3月卒業見込みの者又は卒業した者

（中学校には中等教育学校前期課程及び義務教育学校後期課程を含み、中学校に準ずる学校とは特別支援学校中学部等である。）

- (2) 学校教育法施行規則（昭和22年5月23日文部省令第11号）第95条の規定に該当する者  
(3) 高等学校が示す「出願の条件」（〔別表2〕56ページ）を満たしている者

#### 3 出願手続

全日制の課程の前期選抜に同じ。ただし、調査書については、様式A又は様式Bに記載する。

#### 4 一次選抜と二次選抜

全日制の課程の前期選抜に同じ。

#### 5 出願及び学力検査等の期日

全日制の課程の前期選抜に同じ。

#### 6 選抜方法

全日制の課程の前期選抜に同じ。

#### 7 学力検査又は口頭試問

全日制の課程の前期選抜に同じ。

#### 8 合格者発表

全日制の課程の前期選抜に同じ。

---

### 2 一般選抜

---

#### 1 募集人員

募集人員については、〔別表1〕(41ページ)のとおりとする。

ただし、前期選抜の合格者が募集人員に満たない場合は、その分を加えた募集人数とする。

#### 2 出願資格

次の(1)又は(2)に該当する者で、前期選抜で合格していない者とする。県外居住者も出願することができる。

- (1) 中学校若しくはこれに準ずる学校（以下「中学校」という。）を令和4年3月卒業見込みの者又は卒業した者

（中学校には中等教育学校前期課程及び義務教育学校後期課程を含み、中学校に準ずる学校とは特別支援学校中学部等である。）

- (2) 学校教育法施行規則（昭和22年5月23日文部省令第11号）第95条の規定に該当する者

#### 3 出願手続

全日制の課程の一般選抜に同じ。

#### 4 志願先の変更

全日制の課程の一般選抜に同じ。

#### 5 出願及び学力検査等の期日

全日制の課程の一般選抜に同じ。

#### 6 選抜方法

全日制の課程の一般選抜に同じ。

#### 7 調査書

全日制の課程の一般選抜に同じ。

#### 8 学力検査

(1) 学力検査は、国語、数学、英語の3教科とし、受検者に対し、同一問題で一斉に行う。

(2) 学力検査等の日程は次のとおりとする。

	第1時	第2時	第3時	昼食	昼食 終了後
検査時間	8:50～ 9:50	10:10～ 11:10	11:30～ 12:30	12:30～ 13:15	
教科	国語	数学	英語		面接

上記(1)、(2) 以外は、全日制の課程の一般選抜に同じ。

#### 9 面接

全日制の課程の一般選抜に同じ。

#### 10 合格者発表

全日制の課程の一般選抜に同じ。

## 【2 次 募 集】

#### 1 実施学科及び募集人数

一般選抜を終了した時点で、前期選抜と一般選抜の合格者の計が募集定員に満たない学科において2次募集を行う。募集人数は、当該学科の募集定員までの人数とする。

#### 2 出願資格

原則として、秋田県公立高等学校の一般選抜を受検し、合格していない者とする。

#### 3 出願手続

全日制の課程の2次募集に同じ。

#### 4 出願及び面接等の期日

全日制の課程の2次募集に同じ。

#### 5 選抜方法

全日制の課程の2次募集に同じ。

#### 6 合格者発表

全日制の課程の2次募集に同じ。

### Ⅲ 通信制の課程

#### 1 募集学校

秋田明德館高等学校

#### 2 募集定員

募集定員については、〔別表1〕(41ページ)のとおりとする。

#### 3 出願資格

県内に居住する者で、次の(1)又は(2)に該当する者とする。

(1) 中学校若しくはこれに準ずる学校(以下「中学校」という。)を令和4年3月卒業見込みの者又は卒業した者

(中学校には中等教育学校前期課程及び義務教育学校後期課程を含み、中学校に準ずる学校とは特別支援学校中学部等である。)

(2) 学校教育法施行規則(昭和22年5月23日文部省令第11号)第95条の規定に該当する者

#### 4 出願書類

(1) 入学願書

(2) 中学校の調査書

(3) 写 真

} 学校所定の用紙

出願前6か月以内に脱帽で上半身を正面から撮影した横3cm、縦4cmのものを入学願書に貼ること。

#### 5 出願の期日

(1) 第一次出願期間 令和4年2月25日(金)から3月3日(木)まで

(2) 第二次出願期間 令和4年3月22日(火)から3月28日(月)まで

※ (1)の受付時間は、午前9時から午後4時までとする。ただし、土曜日、日曜日は受付をしない。

(2)の受付時間は、午前9時から午後4時までとする。ただし、秋田明德館高等学校定時制の課程の2次募集面接等実施日に当たる3月23日(火)は受付をしない。

#### 6 出願書類提出先

秋田明德館高等学校

〒010-0001 秋田市中通二丁目1番51号(電話018-833-1261)

#### 7 面接実施日

(1) 第一次面接 令和4年3月9日(水)…… 第一次出願期間に出願した者

(2) 第二次面接 令和4年3月30日(水)…… 第二次出願期間に出願した者

#### 8 選抜方法

面接を課す。

入学者の選抜は、高等学校長が、提出された書類及び面接の評価に関する資料等によって総合的に行う。

#### 9 合格者発表

第一次面接者は令和4年3月11日(金)、第二次面接者は令和4年4月1日(金)に、本人あて文書で通知する。

#### 10 その他

出願のための所定用紙及び入学案内等は秋田明德館高等学校に請求すること。また、不明な点については、秋田明德館高等学校に問い合わせること。

---

**付記 1 保護者の転勤等に係る出願**

---

**1 対象者**

- (1) 保護者の秋田県外から秋田県内への転勤等に伴い、本県の公立高等学校を志願する者
- (2) 秋田県内の県境隣接地域に居住し、隣県に出願している者で、保護者の秋田県内他地区への転勤等に伴い、本県の公立高等学校を新たに志願する者
- (3) 本県公立高等学校へ出願している者で、志願先変更期間終了後、保護者の秋田県内のA地区からB地区への転勤等に伴い、やむを得ず志願先の変更を必要とする者

**2 出願書類の提出期間**

一般選抜における出願期間は、原則として令和4年2月10日（木）から2月15日（火）正午までであるが、保護者の転勤等に伴い、秋田県外から本県公立高等学校に出願する者（前記1の(1)、(2)）や志願先の変更を必要とする者（前記1の(3)）については、令和4年2月28日（月）正午まで出願書類を受け付けるものとする。

受付時間は、午前9時から午後4時までとし、最終日は正午までとする。ただし、土曜日、日曜日は受付をしない。

前期選抜、2次募集においては、「5(1)出願書類の提出期間」（3ページ、7ページ）による。

**3 提出書類と提出先**

- (1) 前期選抜においては、「3 出願手続」（2ページ）による。
- (2) 一般選抜（2次募集を含む）において、前記1の(1)、(2)に該当する者は、次の①～③の書類を中学校長を経て、志願先高等学校長に提出し審査を受けなければならない。
  - ① 「3 出願手続」（4ページ）で示されている出願書類
  - ② 秋田県公立高等学校以外の公立高等学校に志願しない旨の中学校長の証明書（公立高等学校にすでに出願している者又は合格等している者は当該高等学校長の発行する志願取消証明書又は合格等取消証明書）（様式自由）
  - ③ 勤務先の所属長の発行する保護者の転勤の事実（見込み）を証明する書類（様式自由）又は保護者が秋田県内に居住することを証明する書類（秋田県内の市町村長が発行する「住民票」など）
- (3) 一般選抜において、前記1の(3)に該当する者は、前記③の書類を添え、「5 志願先の変更」（5ページ）の手続に従い、必要書類を新たに志願する高等学校長に提出しなければならない。

## 付記2 本県と青森県、岩手県の県境隣接地域居住者の出願

県境隣接の県外居住者が、本県県立高等学校へ入学を志願する場合は、青森県、岩手県との「県境隣接地域県立高等学校志願者取扱協定」と「令和4年度秋田県公立高等学校入学者選抜実施要項」によらなければならない。

### ○ 県境隣接地域県立高等学校志願者取扱協定

#### 1 青森県との協定

秋田県教育委員会と青森県教育委員会は、県境隣接地域に住所を有する者の県外県立高等学校への入学志願者の取扱いについて、次のとおり協定する。

- (1) 他方の県の県立高等学校へ入学志願することについては、別表の上欄に掲げる市町村に住所を有する者が、当該下欄に掲げる県外県立高等学校に志願する場合において、相互に認めるものとする。
- (2) 県外県立高等学校への入学志願は、1校に限り認めるものとし、県内県立高等学校と県外県立高等学校との併願は認めないものとする。
- (3) 前項の併願を防止するため、県外県立高等学校への入学を志願する場合は、併願がない旨の在学又は出身中学校の長の証明書を願書に添付させるものとする。  
また、県外からの入学願書を受理した県立高等学校長は、当該願書を提出した者の属する県境隣接地域の県立高等学校の出願名簿を閲覧することができるものとする。
- (4) 県外県立高等学校へ出願した者は、当該県立高等学校の属する県が行う学力検査等を受けるものとする。
- (5) 願書を受理した県外からの入学志願者については、別表の上欄に掲げる市町村の入学志願者と同一に扱うものとする。
- (6) この協定は、正本の交換がなされた日から効力を生ずるものとする。
- (7) この協定は、一方の県の発議により両県協議の上改正することができるものとする。ただし、当該改正後の協定を次年度から適用しようとする場合は、当該年の8月末日までに発議が行われ、かつ、9月末日までに協議が成立した場合とする。ただし、高等学校の設置・廃止等に伴う改正については、この限りではない。
- (8) この協定に定めのない事項及び疑義が生じた事項については、両県が協議の上定めるものとする。

この協定を証するため、この協定書を2通作成し、両県教育委員会教育長が各々記名押印し、各自その1通を保有するものとする。

昭和50年10月15日  
昭和53年10月3日一部追加  
昭和55年11月1日一部追加  
平成3年10月24日一部追加・削除  
平成6年10月21日一部変更  
平成10年10月27日一部追加  
平成12年9月20日一部変更・削除  
平成16年8月5日一部変更・削除  
平成17年8月5日一部変更・削除  
平成18年8月8日一部変更・削除  
平成19年7月24日一部変更・削除  
平成22年7月22日一部変更・削除

平成23年8月4日一部削除  
平成24年8月2日一部変更・削除  
平成26年8月7日一部変更・追加  
平成27年7月30日一部変更・削除  
平成27年8月18日一部変更・削除  
平成28年7月20日一部変更・追加  
平成29年7月21日一部変更・削除  
令和元年6月14日一部削除  
令和元年6月24日一部追加・削除  
令和2年7月14日一部追加・削除  
令和2年7月21日一部追加・削除  
令和3年6月23日一部削除

秋田県教育委員会  
青森県教育委員会



別 表（市町村名は、受検資格を持つ中学生の居住地を示す。）

青 森 県 側					
<b>【市町村名】</b>					
青森市のうち浪岡		弘前市	黒石市	五所川原市	
十和田市のうち奥瀬字十和田湖畔		つがる市	平川市	鱒ヶ沢町	
深浦町	鶴田町	中泊町	板柳町	西目屋村	
藤崎町	大鰐町	田舎館村			
<hr/>					
<b>【志願できる県立高等学校名】</b>					
花輪高等学校	十和田高等学校	小坂高等学校			
大館鳳鳴高等学校	大館桂桜高等学校	大館国際情報学院高等学校			
秋田北鷹高等学校	能代高等学校	能代松陽高等学校			
能代科学技術高等学校					
<hr/>					
秋 田 県 側					
<b>【市町村名】</b>					
鹿角市	小坂町	大館市	北秋田市	能代市	藤里町
八峰町					
<hr/>					
<b>【志願できる県立高等学校名】</b>					
弘前高等学校	弘前中央高等学校	弘前南高等学校			
木造高等学校	鱒ヶ沢高等学校	五所川原高等学校			
黒石高等学校	尾上総合高等学校	五所川原農林高等学校			
柏木農業高等学校	弘前工業高等学校	五所川原工科高等学校			
弘前実業高等学校					

（注）市町村名は令和3年6月18日現在のものである。

## 2 岩手県との協定

岩手県教育委員会と秋田県教育委員会は、県境隣接地域に住所を有する者の県外県立高等学校への入学志願者の取扱いについて、次のとおり協定する。

- (1) 県外よりの志願は、別表の上欄に掲げる市町村に住所を有する者が、当該下欄に掲げる県外県立高等学校に志願する場合に限り自由に認める。
- (2) 県内と県外との県立高等学校の併願は許さない。県外県立高等学校に出願する場合は併願しない旨出身中学校長の証明を添付する。
- (3) 併願防止のため、別表に掲げる県立高等学校の校長は別表に掲げる市町村が属する学区の県立高等学校の志願者名簿を閲覧することができる。
- (4) 学力検査等は志願先の県の検査を受ける。
- (5) 願書を受理した県外志願者に対しては、県内の学区内の志願者と何等差別的扱いをしない。
- (6) この協定は、両県教育委員会で文書を交換してはじめて有効とする。また、毎年11月末日までに関係委員会より異議の生じないときは、次年度の志願について有効とする。この協定を証するため、本書2通を作成し、岩手県教育委員会及び秋田県教育委員会がそれぞれ押印の上、その1通を保有する。

別 表（市町村名は、受検資格を持つ中学生の居住地を示す。）

岩手県側		
【市町村名】 八幡平市    雫石町    北上市    西和賀町		
-----		
【志願できる県立高等学校名】		
花輪高等学校	十和田高等学校	小坂高等学校
角館高等学校	横手高等学校	横手城南高等学校
横手清陵学院高等学校		

秋田県側		
【市町村名】 鹿角市    小坂町    仙北市    横手市のうち旧横手市・山内村		
-----		
【志願できる県立高等学校名】		
平館高等学校	雫石高等学校	黒沢尻北高等学校
北上翔南高等学校	黒沢尻工業高等学校	西和賀高等学校

(注) 市町村名は平成25年7月1日現在のものである。

昭和37年5月24日  
 昭和47年10月27日一部追加  
 昭和55年11月8日一部追加  
 平成5年11月9日一部削除  
 平成15年12月24日一部変更  
 平成17年8月5日一部変更  
 平成18年8月8日一部変更・削除  
 平成25年8月8日一部削除

秋田県教育委員会  
 岩手県教育委員会

○ 県境隣接地域県立高等学校への出願者の志願先変更について

1 秋田県と青森県の間

秋田県の生徒 入学願書出願期間に青森県に出願した生徒が、志願先変更期間内に志願先変更をする場合は、秋田県の全ての公立高等学校のいずれでも可とする。

青森県の生徒 入学願書出願期間に秋田県に出願した生徒が、志願先変更期間内に志願先変更をする場合は、別表にある秋田県立高等学校のいずれでも可とする。

2 秋田県と岩手県の間

秋田県の生徒 入学願書出願期間に岩手県に出願した生徒が、志願先変更期間内に志願先変更をする場合は、別表にある岩手県立高等学校及び秋田県の全ての公立高等学校のいずれでも可とする。

岩手県の生徒 入学願書出願期間に秋田県に出願した生徒が、志願先変更期間内に志願先変更をする場合は、別表にある秋田県立高等学校に変更することができる。また、岩手県の高等学校に変更する場合は、「岩手県立高等学校入学者選抜実施要項」によるものとする。

---

## 付記3 海外帰国生徒等入学者選抜に係る出願

---

### 1 海外帰国生徒等

海外帰国生徒等とは、次の者をいう。

#### (1) 海外帰国者

原則として、外国における在住期間が継続して2年以上で、令和2年4月以降帰国した者、又は帰国見込みの者

#### (2) 日本在留外国籍の者

「家族滞在」等の在留資格で県内に居住又は居住予定の外国籍の者で、原則として、令和4年4月1日現在、日本における在住期間が3年未満の者

### 2 募集人員

海外帰国生徒等入学者選抜のための募集人員は特に設けず、当該学科の募集定員に含めるものとする。

### 3 出願資格

次の(1)から(3)のいずれかに該当し、保護者と共に県内に居住している者又は入学時までに居住見込みの者とする。ただし、保護者が勤務の都合で引き続き海外に居住する場合は、保護者に代わる身元引受人のある者とする。

#### (1) 中学校若しくはこれに準ずる学校（以下「中学校」という。）を令和4年3月卒業見込みの者又は卒業した者

（中学校には中等教育学校前期課程及び義務教育学校後期課程を含み、中学校に準ずる学校とは特別支援学校中学部等である。）

#### (2) 外国における学校教育において日本の中学校と同等と見なすことのできる課程を修了した者（修了見込者を含む。）

#### (3) 文部科学大臣が中学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設（いわゆる「日本人学校」）の当該課程を修了した者（修了見込者を含む。）

### 4 出願手続

出願を希望する者は、あらかじめ志願先高等学校長あてに次の書類を、各選抜における入学願書受付開始の7日前までに提出し、志願先高等学校長の承認を得るものとする。

ア 海外帰国生徒等入学者選抜出願承認願（様式(12)）

イ 海外在住状況報告書（様式(13)）

承認後の出願手続については次のとおりとする。

#### (1) 日本の中学校に在籍している場合

本実施要項（1～10ページ）によるものとする。

#### (2) 日本の中学校に在籍していない場合

上記(1)に同じ。ただし、提出書類は次のとおりとする。

ア 入学願書（様式(1)又は(2)又は(3)）

イ 受検票（様式(4)①又は②又は③）

ウ 証紙納付書（様式(6)）

エ 海外の修了（見込み）学校の成績証明書又はこれに代わるもの

オ 医師の健康診断書

### 5 配慮事項

志願先高等学校長は、選抜に当たって次のような配慮をすることができる。

#### (1) 学力検査等実施の参考とするため、事前に面接、作文等を行って、日本語能力をみること

#### (2) (1)の結果や生徒の海外での学習状況等を考慮して、学力検査の実施時間を延長すること等

### 6 選抜方法

入学者の選抜は、高等学校長が、提出された書類、学力検査の成績及び面接の評価に関する資料等によって、総合的に行う。この際、生徒の海外での生活や学習状況等に十分配慮する。

---

## 付記4 受検に際して特別な配慮を必要とする障害等のある生徒の出願

---

受検に際して特別な配慮を必要とする障害等のある生徒が出願する場合の手続は、次のとおりとする。

### 1 申請等手続

- (1) 障害等があることにより、特別な配慮を必要とする志願者の中学校長は、その内容について、受検に係る特別配慮申請書（様式(16)）により、志願する入学者選抜の出願前に志願する高等学校長に申請する。
- (2) 申請のあった高等学校長は、志願者の中学校長と協議を行い、学力検査等の公正さが保たれ、かつ実施可能な範囲において、適切な措置を講ずることができる。
- (3) 協議の結果、特別な配慮が必要であると認めた高等学校長は、受検に係る特別配慮通知書（様式(17)）を検査等の実施日の前日までのできるだけ早い時期に当該中学校長に送付する。

### 2 提出期限

前記1の(1)の申請は、次の提出期限までに行うこと（期限厳守）。

- (1) 前期選抜を志願する場合 …… 令和3年12月24日（金）午後4時まで
- (2) 一般選抜を志願する場合 …… 令和4年2月8日（火）午後4時まで
- (3) 2次募集を志願する場合 …… 令和4年3月18日（金）午後4時まで

### 3 その他

- (1) 特別な配慮が必要であると認めた高等学校長は、申請書及び通知書の写しを当該選抜ごと速やかに高校教育課長あて親展文書で提出すること。
- (2) 必要が認められる場合には、当該高等学校長が高校教育課と協議の上、適切な措置を講ずるものとする。

V

## 諸用紙

様式(1) (A4-縦)

		※ 校 第 号	
消印年月日	※令和 年 月 日	納付金額	円
<h2>前期選抜入学願書</h2>			
令和 年 月 日			
(あて先) 立		高等学校長	
		本人氏名	
		保護者氏名	
第一学年への入学を志願します。			
志願学科	全日制の課程	定時制の課程	( 校 ) 科
本人	ふりがな氏名		
	生年月日	平成 年 月 日	生
	住所		
	在学(出身)学校	立 学校	
	令和 年 月 日	卒業見込み	卒業
	卒業後の経歴		
保護者	ふりがな氏名	(本人との関係)	
	住所		
合格通知書の送付先	郵便番号 _____ 郡市 _____ 方 氏名 _____		
緊急連絡先	(本人との関係) 氏名 _____ 電話番号 _____		

写真(出願前6か月以内に脱帽で上半身を正面から撮影した横3cm、縦4cmのものを貼ってください。)

- (注) 1 本人氏名及び保護者氏名は、自書してください。  
 2 分校や地域校の志願者は、分校又は地域校名を記入してください。  
 3 ※印の欄は、記入しないでください。  
 4 各欄中の不要な文字は、二本線で抹消してください。  
 5 卒業後の経歴の欄は、定時制の課程のみ必要に応じて記入してください。  
 6 緊急連絡先は、本人以外の連絡を取れる方の氏名及び電話番号を記入してください。

様式(2) (A4-縦)

※ 校 第 号

消印年月日

※令和 年 月 日

納付金額

円

写真(出願前6か月以内に脱帽で上半身を正面から撮影した横3cm、縦4cmのものを貼ってください。)

## 一般選抜入学願書

令和 年 月 日

(あて先) 立 高等学校長

本人氏名

保護者氏名

第一学年への入学を志願します。

第一志願学科 全日制的課程 定時制的課程 ( 校) 科

第二志願学科 全日制的課程 定時制的課程 ( 校) 科

本人	ふりがな氏名			
	生年月日	平成 年 月 日	生	
	住所			
	在学(出身)学校	立 学校	令和 年 月 日	卒業見込み 卒業
卒業後の経歴				

保護者	ふりがな氏名	(本人との関係)		
	住所			

合格通知書の送付先	郵便番号	_____		
		郡市	_____	
		方 氏名	_____	

緊急連絡先	(本人との関係)		
	氏名	電話番号	

- (注) 1 本人氏名及び保護者氏名は、自書してください。  
 2 分校や地域校の志願者は、分校又は地域校名を記入してください。  
 3 第二志願学科がある場合は、志願欄に必ず記入してください。  
 4 ※印の欄は、記入しないでください。  
 5 各欄中の不要な文字は、二本線で抹消してください。  
 6 緊急連絡先は、本人以外の連絡を取れる方の氏名及び電話番号を記入してください。

様式(3) (A4-縦)

※ 校 第 号

消印年月日	※令和 年 月 日	納付金額	円
<h2 style="margin: 0;">2次募集入学願書</h2>			
令和 年 月 日			
(あて先) 立		高等学校長	
		本人氏名	
		保護者氏名	
第一学年への入学を志願します。			
第一志願学科	全日制の課程	定時制の課程	( 校) 科
第二志願学科	全日制の課程	定時制の課程	( 校) 科
一般選抜受検校 ( 高等学校) 全日制の課程 定時制の課程 ( 校) ( 科) 受検番号 ( )			
本人	ふりがな氏名		
	生年月日	平成 年 月 日	生
	住所		
	在学(出身)学校	立 学校	令和 年 月 日 卒業見込み 卒業
卒業後の経歴			
保護者	ふりがな氏名	(本人との関係)	
	住所		
合格通知書の送付先		郵便番号 _____ 郡市 _____ 方 氏名 _____	
緊急連絡先		(本人との関係)	
		氏名	電話番号

写真(出願前6か月以内に脱帽で上半身を正面から撮影した横3cm、縦4cmのものを貼ってください。)

- (注) 1 本人氏名及び保護者氏名は、自書してください。  
 2 分校や地域校の志願者は、分校又は地域校名を記入してください。  
 3 第二志願学科がある場合は、志願欄に必ず記入してください。  
 4 ※印の欄は、記入しないでください。  
 5 各欄中の不要な文字は、二本線で抹消してください。  
 6 緊急連絡先は、本人以外の連絡を取れる方の氏名及び電話番号を記入してください。



様式(4)① (A 5 - 横)

受検番号	※	校 第 号	写真 (出願前 6 か月以内に脱帽で上半身を正面から撮影した横 3 cm、縦 4 cmのもの) を貼ってください。
<b>前期選抜受検票</b>			
氏 名			高等学校長印
検査会場			印
(備 考)			

(注) ※印の欄は、記入しないでください。

様式(4)② (A 5 - 横)

受検番号	※	校 第 号	写真 (出願前 6 か月以内に脱帽で上半身を正面から撮影した横 3 cm、縦 4 cmのもの) を貼ってください。
<b>一般選抜受検票</b>			
氏 名			高等学校長印
検査会場			印
(備 考) 学力検査開始30分前 (午前 8 時20分) までに 出校してください。			

(注) ※印の欄は、記入しないでください。

様式(4)③ (A 5 - 横)

受検番号	※	校 第 号	写真 (出願前 6 か月以内に脱帽で上半身を正面から撮影した横 3 cm、縦 4 cmのもの) を貼ってください。
<b>2次募集受検票</b>			
氏 名			高等学校長印
検査会場			印
(備 考) 午前 9 時までに出校してください。			

(注) ※印の欄は、記入しないでください。

# 志 願 理 由 書

令和 年 月 日

(あて先) 立 高等学校長

○ ○ 学校

令和 年 月 日卒業見込み

氏名

平成 年 月 日生

志願理由

(注) 定時制の課程に志願する場合で、中学校等を卒業した者は、「見込み」を二本線で抹消してください。

<b>証 紙 納 付 書</b>		令和 年 月 日																
(〇〇制の課程) (〇〇高等学校長) (あて先) 秋田県知事 佐竹 敬久																		
納付者住所氏名																		
納付する使用料 若しくは手数料 又は狩猟者登録 税若しくは入猟 税の名称	<b>入学検定料</b>	¥〇,〇〇〇																
証紙貼付欄																		
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>																		

<b>証 紙 納 付 書</b>		令和 年 月 日																
(〇〇制の課程) (〇〇高等学校長) (あて先) 秋田県知事 佐竹 敬久																		
納付者住所氏名																		
(代表生徒の住所) 氏名 (代表生徒の氏名 外△△名分)																		
納付する使用料 若しくは手数料 又は狩猟者登録 税若しくは入猟 税の名称	<b>入学検定料</b>	¥〇,〇〇〇																
証紙貼付欄																		
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>																		

(注) 1 △△名分の人数は、代表生徒1名分を除いた人数。  
 2 高等学校長は、受検者名簿1部を添えて、地域振興局出納室に提出してください。



受検番号	※	校 第	号
------	---	-----	---

## 傾斜配点教科申告書

令和 年 月 日

(あて先) 立 高等学校長

本人氏名

保護者氏名

科への入学を志願するに当たり、学力検査における傾斜配点教科について、次のとおり申告します。

傾斜配点を申告する教科

--	--

上記のことを承知しております。

○ ○ 学校 校長 氏名

印

- (注) 1 この用紙は、中学校で作成してください。  
2 **本人氏名及び保護者氏名は、自書してください。**  
3 この申告書の提出は、自己申告を取り入れる学科のみとします。  
4 教科の欄が空白になる場合は、斜線を引いてください。  
5 ※印の欄は、記入しないでください。

様式(9)(10) (A4-縦)

様式(9)

<h2>志願先変更願書</h2>		返還する受検票を貼ってください。
令和 年 月 日		
(あて先)	立 高等学校長 志願 科 受検番号 番 本人氏名 保護者氏名	
次のとおり、志願先を変更したいので証明願います。		
変更先学校・学科		
○ ○ 高等学校 (全・定 第一志願 科		
○ ○ 学校 校長 氏名 <span style="float: right;">印</span>		
※ 志願先変更願書受付日 令和 年 月 日		

- (注) 1 本人氏名及び保護者氏名は、自書してください。  
2 不要の文字は、二本線で抹消してください。  
3 ※印の欄以外は全て記入の上、提出してください。

-----切-----取-----線-----

様式(10)

<h2>志願先変更証明書</h2>		※ 令和 年 月 日
(あて先)	立 高等学校長	
	※ 立 高等学校長 氏名	印
次の者は本校(全・定 第一志願 科)に志願したが、 このたび貴校(全・定 第一志願 科)へ志願先を変更 した者であることを証明する。		
氏 名		
在学(出身)学校 ○○○○		

- (注) 1 不要の文字は、二本線で抹消してください。  
2 ※印の欄以外は全て記入の上、変更前志願校へ提出してください。

## 志願学科変更願書

令和 年 月 日

(あて先) 立 高等学校長

本人氏名

保護者氏名

先に提出した入学願書の志願学科を次のように変更願います。

### 1 変更前の志願学科

第一志願学科	全日制の課程	定時制の課程	( ) 校	科
第二志願学科	全日制の課程	定時制の課程	( ) 校	科

### 2 変更後の志願学科

第一志願学科	全日制の課程	定時制の課程	( ) 校	科
第二志願学科	全日制の課程	定時制の課程	( ) 校	科

〇 〇 学校 校長 氏名

印

※ 志願学科変更願書受付日 令和 年 月 日

( )

- ( 1 第一志願学科の変更の場合は、返還する受検票を貼る。  
2 第二志願学科の変更又は追加の場合は受検票を貼らずに、  
( ) 内に受検番号を記入する。 )

- (注) 1 この用紙は、中学校で作成してください。  
2 本人氏名及び保護者氏名は、自書してください。  
3 ※の欄以外は全て記入の上、提出してください。  
4 第二志願学科がないときは、二本線で抹消してください。

## 海外帰国生徒等入学者選拔出願承認願

令和 年 月 日

(あて先) 立 高等学校長

ふりがな  
本人氏名

平成 年 月 日生

保護者氏名

私は、海外帰国生徒等入学者選抜に出願したいので、承認願います。

- 1 本人現住所 電話
- 2 保護者現住所 電話
- 3 本人と保護者との関係
- 4 出願する学科
- 5 本人の入学後の住所 電話
- 6 出願の理由

-----  
上記の事情に相違ないことを証明します。

令和 年 月 日

在学(出身)学校

校長 氏名



- (注) 1 この用紙は、中学校で作成してください。  
2 本人氏名及び保護者氏名は、自書してください。



## 海外在住状況報告書

令和 年 月 日

(あて先) 立 高等学校長

ふりがな

本人氏名

保護者氏名

次の記載事項は、事実と相違ありません。

- 1 海外在住地 (国名) \_\_\_\_\_
- 2 出国年月 平成・令和 年 月
- 3 帰国年月 平成・令和 年 月
- 4 入国年月 平成・令和 年 月
- 5 在住期間 \_\_\_\_\_ 年 月
- 6 出国前・海外在住中・帰国 (入国) 後の教育歴

学 校 名	所在地 (国名・都市名)	期 間
		年 月～ 年 月
		年 月～ 年 月
		年 月～ 年 月
		年 月～ 年 月
		年 月～ 年 月
備 考	(特に参考となることがあれば記入してください。)	

- (注) 1 この用紙は、中学校で作成してください。
- 2 **本人氏名及び保護者氏名は、自書してください。**
- 3 出国年月及び帰国年月は、海外帰国者のみ記入してください。
- 4 入国年月は、外国籍の志願者のみ記入してください。
- 5 不要の文字は、二本線で抹消してください。

様式(14) (A 4 - 縦)

前期選抜  
一般選抜  
2次募集

## 受 検 票 発 行 台 帳

(学 校 名)

(課 程)

受 検 番 号	氏 名	学 校 名	発 行 年 月 日	備 考
校 第 号				
校 第 号				
校 第 号				
校 第 号				
校 第 号				
校 第 号				
校 第 号				
校 第 号				
校 第 号				

(注) この用紙は、高等学校で作成してください。

様式(15) (A 5 - 縦)

## 入 学 検 定 料 領 収 済 証 明 書

氏 名  
生年月日 年 月 日  
在学(出身)学校 立 学校

上記の者に係る秋田県公立高等学校入学者選抜前期選抜の入学検定料を受領し、二次選抜を実施していないことを証明する。

令和 年 月 日

〇 〇 高等学校 校長 氏名

印

(注) この用紙は、高等学校で作成してください。

## 受検に係る特別配慮申請書

令和 年 月 日

(あて先) 立 高等学校長

ふりがな  
本人氏名

平成 年 月 日生

保護者氏名

次のとおり、特別な配慮を申請します。

- 1 選抜の種類
- 2 出願する学科
- 3 障害等の状況
- 4 希望する配慮事項
- 5 その他

-----  
上記の事情に相違ないことを証明します。

令和 年 月 日

在学(出身)学校

校長 氏名

印

- (注) 1 この用紙は、中学校で作成してください。  
2 本人氏名及び保護者氏名は、自書してください。

## 受検に係る特別配慮通知書

立 学校長 様

次のとおり、特別な配慮について認めますので通知します。

1 該当生徒

本人氏名

平成 年 月 日生

保護者氏名

2 選抜の種類

3 出願する学科

4 障害等の状況

5 配慮事項

6 その他

令和 年 月 日

○ ○ 高等学校 校長 氏名

印

(注) この用紙は、高等学校で作成してください。

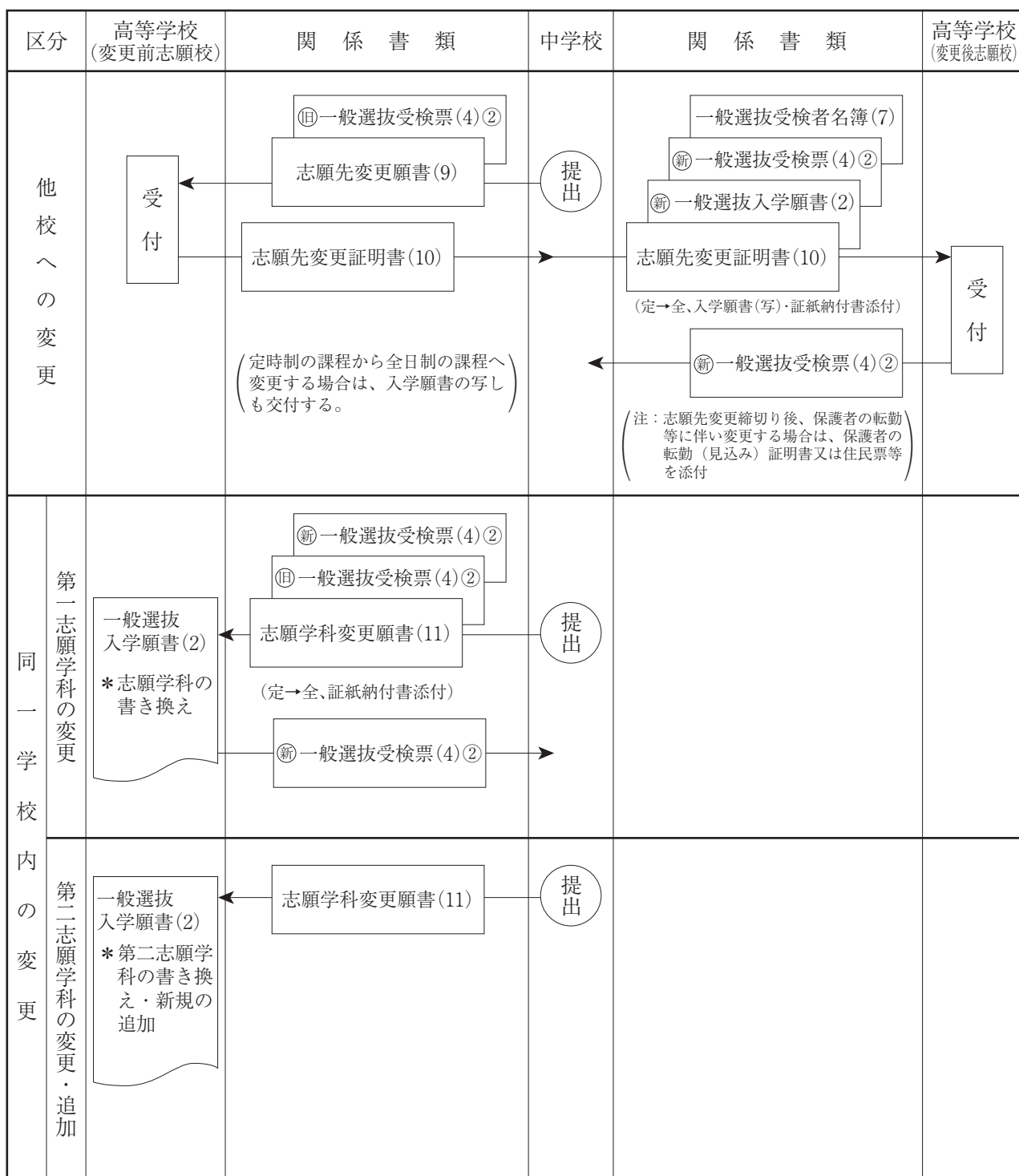
# 出 願 手 続

区分	高等学校	関 係 書 類	中学校
前期 選 抜	受 付	<div style="text-align: center;"> <p>前期選抜受検者名簿(7)</p> <p>証紙納付書(6)</p> <p>調 査 書</p> <p>志 願 理 由 書 (5)</p> <p>前期選抜受検票(4)①</p> <p>前期選抜入学願書(1)</p> </div> <div style="margin-top: 20px;"> <p>前期選抜受検票(4)①</p> </div> <div style="margin-top: 20px;"> <p>学校独自の提出書類</p> <p>(注) 学校独自の提出書類がある場合のみ</p> </div>	提 出
一 般 選 抜	受 付	<div style="text-align: center;"> <p>一般選抜受検者名簿(7)</p> <p>証紙納付書(6)</p> <p>一般選抜受検票(4)②</p> <p>一般選抜入学願書(2)</p> </div> <div style="margin-top: 20px;"> <p>一般選抜受検票(4)②</p> </div> <div style="margin-top: 20px;"> <p>調 査 書</p> <p>2月22日(火)～2月24日(木)</p> </div> <div style="margin-top: 20px;"> <p>傾斜配点教科申告書(8)</p> <p>(注) 該当学科のみ</p> </div> <p>(注) ・保護者の秋田県外から秋田県内への転勤等に伴い、本県公立高等学校を受検する場合には次の証明書が必要となる。詳細は付記1(11ページ)参照。          ①本県公立高等学校以外受検しない旨の証明書          ②保護者の転勤(見込み)証明書又は住民票等          ・志願先変更期間終了後の保護者等の転勤等に係る出願の提出書類には上記証明書と調査書が含まれる。</p>	提 出
2 次 募 集	受 付	<div style="text-align: center;"> <p>2次募集受検者名簿(7)</p> <p>調 査 書</p> <p>2次募集受検票(4)③</p> <p>2次募集入学願書(3)</p> </div> <div style="margin-top: 20px;"> <p>2次募集受検票(4)③</p> </div> <div style="margin-top: 20px;"> <p>証紙納付書(6)</p> <p>(注) 一般選抜で定時制の課程を受検し、2次募集で全日制の課程を受検する者のみ</p> </div> <p>(注) ・保護者の秋田県外から秋田県内への転勤等に伴い、本県一般選抜を受検した者が志願する場合には次の証明書が必要となる。詳細は付記1(11ページ)参照。          ①本県公立高等学校以外受検しない旨の証明書          ②保護者の転勤(見込み)証明書又は住民票等</p>	提 出

( ) 内の数字は様式番号を示す

(注) 出願書類を郵送する場合は、受検票返信用封筒(簡易書留郵便分の切手を貼付したもの)を同封。

# 志願先変更手続



( ) 内の数字は様式番号を示す

## Ⅵ 調査書及び学習成績一覧表作成要領

### 1 調査書作成委員会

- 1 中学校は、厳正かつ公平に「調査書」及び「学習成績一覧表」を作成するため、「調査書作成委員会」を設置する。
- 2 「調査書作成委員会」は、校長、教頭及び教員をもって組織する。

### 2 調査書

#### 1 調査書の作成

**様式A**により、生徒指導要録に準じて作成するものとする。作成に当たっては、黒ペン又は黒ボールペンを用い、鮮明に記入する。ただし、所定の様式を踏まえればワープロなどにより作成したものも可とする。

#### 2 調査書の記載

- (1) 氏 名 生徒指導要録に準ずること。
- (2) 性 別 「男」又は「女」と記入する。
- (3) 卒 業 等 中学校卒業見込み・卒業の年月日を記入する（卒業見込み・卒業のいずれかを二本線で抹消する）。
- (4) 志願校名 「〇〇高等学校」と記入する。
- (5) 受検番号 中学校において、全・定のいずれかを二本線で抹消し、受検番号を記入する。  
受検番号の確定しない前期選抜、2次募集の出願においては空欄とする。

#### (6) 各教科の学習の記録

ア 各教科の観点別学習状況欄の記入は次のとおりとする。

(ア) 教科ごとに、その欄に掲げられたそれぞれの観点について、各中学校において定めた評価規準により、卒業見込みの者については3年次における12月末までの各教科の観点別評価を、卒業した者については生徒指導要録に記載された3年次の各教科の観点別評価を記入する。

(イ) 教科ごとに、その欄に掲げられたそれぞれの観点について、各教科の目標に照らし、各々「十分満足できる」状況と判断されるものをA、「おおむね満足できる」状況と判断されるものをB、「努力を要する」状況と判断されるものをCとする絶対評価で記入する。

なお、記載は、該当欄に○印を記入する。

イ 各教科の評定欄の記入は次のとおりとする。

(ア) 卒業見込みの者の第1学年、第2学年については生徒指導要録に記載された5段階評定を記入し、第3学年については12月末までの学習状況を総括的に評価した5段階評定を記入する。

(イ) 卒業した者については、各学年とも生徒指導要録に記載された5段階評定を記入する。

ウ 評定の合計欄には、各学年について、国語、社会、数学、理科、英語の5教科の小計(1)と音楽、美術、保健体育、技術・家庭の4教科の小計(2)を加えた値を記入する。

エ 調整評定値欄には、第3学年の評定について、5教科の小計(1)に4教科の小計(2)を2倍して加えて得られた値 $((1) + (2) \times 2)$ を記入する。卒業した者及び県外からの志願者も同様とする。

オ 定時制調整評定値欄には、第一志願、第二志願を問わず、定時制の課程の学科を志願する場合に記入するものとし、調整評定値に第3学年の社会と理科の評定を加えたものを記入する。

志願学科がすべて全日制の課程の学科である場合は斜線を引く。

カ 選択教科欄の記入

(ア) 3年次における教科名、主な学習内容及び評定を記入する。

なお、保健体育や技術・家庭は、保体、技・家と記入してもよい。

(イ) 主な学習内容には、学習した内容や取り組んだ課題等について記入する。

(例) ・戊辰戦争の調査  
・電気の実験

キ 各教科の学習の特記事項

「〇〇の教科における△△について特に優れている」など、各教科の学習において顕著な事柄がある場合は記入する。

(7) 総合的な学習の時間の記録

中学校における学習活動及び評価について記入する。

(例) ・学習活動 〇〇というテーマを設定し、△△を調査して、取りまとめ、自らの進路意識を高めた。  
・評価 調査活動に意欲的に取り組んだ。まとめ方もよく、発表力も十分であった。

(8) 特別活動の記録

事実の記録欄は、3か年間における学級活動、生徒会活動、学校行事のそれぞれについて諸係、役員、委員会等の名称を記入し、特にない場合は斜線を引く。

(例) ・学級活動 学級花壇係責任者  
学級会プログラム委員  
・生徒会活動 交通安全委員  
応援委員会副委員長  
・学校行事 学校祭実行委員食堂係責任者  
修学旅行しおり作成委員

(9) 体育的・文化的・奉仕的活動等の記録

ア 体育的活動 部活動やその他の体育的活動における顕著な活動や取得した資格及び特技について記入する。

(例) ・秋田県中学校総合体育大会〇〇の部〇位入賞  
・全日本スキー連盟技能テスト〇級  
・野球部の投手として各種大会に出場し活躍した。地区大会準優勝の原動力として頑張った。



イ 文化的活動 部活動やその他の文化的活動における顕著な活動や取得した資格及び特技について記入する。

- (例)
- ・秋田県中学校英語暗唱弁論大会〇位入賞
  - ・秋田県小・中・高等学校児童生徒理科研究発表大会に出場
  - ・わか杉チャレンジフェスティバルに参加

ウ 奉仕的活動 校内外における奉仕的活動について、顕著な活動を記入する。

- (例)
- ・令和（平成）〇〇年〇月特別養護老人ホームの施設訪問
  - ・校内の花壇づくりや美化活動に積極的に取り組んだ。
  - ・緑の少年団員として、募金活動への協力や町の植樹祭、学校林の清掃活動に尽力した。

#### (10) 出欠の記録

卒業見込みの者については令和3年12月31日現在で記入し、卒業した者については卒業年度末現在で記入する。

なお、各学年とも6日以上欠席がある場合は、その主な理由を記入する。

#### (11) その他の事項

学校生活を送る上で特に配慮が必要であると思われる事項について記入する。

#### (12) その他

ア 学校名、校長氏名、記載者職氏名を記入し、それぞれ押印する。なお、コピーしたものに押印して提出してもよい。

イ ※印の欄は高等学校において記入するものとする。

### 3 その他

(1) 令和3年3月以前の中学校卒業者の場合は**様式B**を利用する。

(2) 調査書は、**秘**扱いとし、その作成及び保管については十分に留意すること。

(3) 秋田県外からの志願者の調査書の評定は、志願者が在籍する中学校の評定によるものとする。

(4) 令和4年1月1日以降に転入した生徒の調査書作成等について

ア 当該生徒が転出した中学校長は、3年次における各教科の学習の記録を含め、調査書の記載に必要な記録を令和3年12月31日現在で整え、転入先の中学校長に通知する。転入先の中学校長はこれに基づき調査書を作成する。

イ 転入先の中学校長は、その生徒が志願する高等学校長に令和4年1月1日以降の転入者であることを、転出した中学校長にはその生徒が志願する高等学校名を、それぞれ文書で通知する。

### 3 学習成績一覧表

学習成績一覧表は、各中学校において、卒業見込みの者全員について、〔附表〕（39ページ）により、甲表、乙表を作成する。

なお、用紙は日本産業規格A 4判（210mm×297mm）を縦に使用する。

#### 1 甲表（その学校に在籍する第3学年生徒全員について記載するものとする。）

##### (1) 学年番号

学年番号は、生徒指導要録順に（1枚に1学級が原則）、全記載人員を通して、1から始まる一連番号を記入する。

(2) 各教科の成績は、志願者の調査書中の第3学年の評定と同じものを記入する。

(3) 甲表には、上部に「○枚中の○枚目」と明記し、それぞれ記載者職氏名を記した上で、押印する。

最終の甲表の末尾に、「欄内記載総人員 計○○名」と書く。計は欄内の最終一連番号と一致することになる。

#### 2 乙表（各教科について、その段階別人数とその学校の全体的な成績の概況をつかむためのもので、甲表の欄内記載総人員を対象とする。）

##### (1) 記入の仕方

ア (1)の各教科の行には、国語、社会など全員が履修している教科についての履修生徒数と段階別人数を書く。

イ (2)の評定の合計の人数は、甲表の評定の合計(1) + (2)の該当人数を記入する。

ウ (3)は甲表の調整評定値の該当人数を記入する。

#### 3 その他

(1) 学習成績一覧表は、甲表、乙表の順にして表紙（「学習成績一覧表○○中学校」と書く。）を付け、左上部1か所をとじて、令和4年2月1日（火）正午まで、高校教育課長あて持参又は簡易書留にて提出すること。封書には「学習成績一覧表」と朱書きすること。

(2) 学習成績一覧表は㊟扱いとし、その作成及び保管については十分に留意すること。

(3) 卒業した者及び県外からの志願者については、「学習成績一覧表」の提出は不要とする。

[付表]

# 学 習 成 績 一 覧 表

秘

○枚中の○枚目

甲表

記載者職氏名

印

学年番号	国 語	社 会	数 学	理 科	英 語	小 計 (1)	音 楽	美 術	保 健 体 育	技 術 ・ 家 庭	小 計 (2)	評 定 の 合 計 (1)+(2)	調 整 評 定 値
○枚目の計													

乙表

(1)

段 階		5	4	3	2	1
国 語	名	名	名	名	名	名
社 会		名	名	名	名	名
数 学		名	名	名	名	名
理 科		名	名	名	名	名
英 語		名	名	名	名	名
音 楽		名	名	名	名	名
美 術		名	名	名	名	名
保健体育		名	名	名	名	名
技術・家庭		名	名	名	名	名

(2)

評定の合計	人 数	評定の合計	人 数	評定の合計	人 数
40~45		25~29		10~14	
35~39		20~24		9	
30~34		15~19			

(3)

調整評定値	人 数	調整評定値	人 数	調整評定値	人 数
60~65		40~44		20~24	
55~59		35~39		15~19	
50~54		30~34		13~14	
45~49		25~29			

記載者職氏名

印

本表の記載事項に誤りがないことを証明する。

令和 年 月 日

○ ○ 学校 校長 氏名

印

# Ⅶ 別 表

〔別表1〕

## 令和4年度秋田県公立高等学校募集定員等

### 全日制の課程

No.	学校名	学 科 名	募集定員	選抜別募集人員	
				前期	一般
1	花 輪	普通	140	30	110
2	十和田	普通	70	14	56
3	小 坂	普通	35	7	28
		産業工学	35	7	28
4	大館鳳鳴	普通	210	35	175
		理数			
5	大館桂桜	普通	105	21	84
		生活科学			
		機械	35	11	24
		電気	35	11	24
6	大館国際 情報学院 (注1)	普通	41	12	29
		国際情報	40	12	28
7	秋田北鷹	普通	140	28	112
		生物資源	35	7	28
		緑地環境	35	7	28
8	能 代	普通	210	35	175
		理数			
9	能代松陽	普通	140	21	119
		国際コミュニケーション			
		情報ビジネス	70	21	49
10	能 代 科学技術	機械	105	32	73
		電気			
		建設			
		生物資源	70	21	49
		生活福祉			
県 北 計			1,586	343	1,243
11	五 城 目	普通	105	32	73
12	男鹿海洋	普通	35	11	24
		海洋	35	11	24
		食品科学	35	11	24
13	男鹿工業	機械	35	11	24
		電気電子	35	11	24
		設備システム	35	11	24
14	秋 田 西	普通	175	40	135
15	金足農業	生物資源	35	11	24
		環境土木	35	11	24
		食品流通	35	11	24
		造園緑地	35	11	24
		生活科学	35	11	24
16	秋 田	普通	275	28	247
		理数			
17	秋 田 北	普通	228	30	198
18	秋 田 南 (注1)	普通	149	24	125
19	秋田中央	普通	210	35	175
20	新 屋	普通	175	45	130
21	秋田工業	機械	70	21	49
		電気エネルギー	35	11	24
		土木	35	11	24
		建築	35	11	24
23	秋田商業	商業	240	72	168
24	御所野学院 (注2)	普通	56	16	40
25	本 庄	普通	210	30	180
26	由 利	普通	175	45	130
		理数			
		国際			
27	由利工業	機械	35	11	24
		電気	35	11	24
		環境システム	35	11	24
		建築	35	11	24
28	矢 島	普通	60	10	50
29	西 目	総合学科	140	42	98
30	仁 賀 保	普通	80	20	60
		情報メディア	35	10	25
中 央 計			3,048	709	2,339

No.	学校名	学科名	募集定員	選抜別募集人員	
				前期	一般
31	西仙北	普通	60	18	42
32	大曲農業	農業科学	70	21	49
		食品科学	35	11	24
		園芸科学	35	11	24
		生活科学	35	11	24
	太田分校	普通	35	11	24
33	大曲	普通	160	28	132
		商業	35	11	24
34	大曲工業	機械	35	11	24
		電気	70	21	49
		土木・建築	35	11	24
35	角館	普通	210	42	168
36	六郷	普通	105	21	84
		福祉			
37	横手	普通	235	30	205
		理数			
38	横手城南	普通	160	30	130
39	横手清陵学院 (注1)	普通	46	14	32
		総合技術	61	18	43
40	平成	普通	70	21	49
		総合ビジネス	35	11	24
41	雄物川	普通	80	24	56
42	増田	総合学科	80	24	56
		農業科学	35	11	24
43	湯沢	普通	175	25	150
		理数			
44	湯沢翔北	普通	40	12	28
		総合ビジネス	70	21	49
		工業技術	70	21	49
45	雄勝校	普通	40	12	28
羽後	普通	70	21	49	
県南計			2,187	523	1,664
県合計			6,821	1,575	5,246

※ 募集定員の県合計は、大館国際情報学院中学校から大館国際情報学院高等学校への進学者69名、秋田南高等学校中等部から秋田南高等学校への進学者79名、横手清陵学院中学校から横手清陵学院高等学校への進学者43名及び御所野学院中学校から御所野学院高等学校への連携型中高一貫入学者選抜による募集人員24名を含めた場合、7,036名となる。

## 定時制の課程

No.	学校名	学科名	募集定員	選抜別募集人員		
				前期	一般	
4	大館鳳鳴 (注3)	普通	35	I部(昼間の部)	7	28
				II部(夜間の部)	6	24
8	能代	普通(昼間の部)	35	7	28	
県北計			100	20	80	
22	秋田明德館 (注3)	普通	70	I部(午前の部)	21	49
				II部(午後の部)	11	24
				III部(夜間の部)	9	21
25	本荘	普通(夜間の部)	30	6	24	
中央計			165	47	118	
35	角館 (注3)	普通	35	I部(午前の部)	7	28
				II部(午後の部)	6	24
37	横手 (注3)	普通	35	I部(昼間の部)	7	28
				II部(夜間の部)	6	24
県南計			130	26	104	
県合計			395	93	302	

## 通信制の課程

No.	学校名	学科名	募集定員
24	秋田明德館	普通	約300

(注1) 大館国際情報学院高等学校の普通科及び国際情報科、秋田南高等学校の普通科、横手清陵学院高等学校の普通科及び総合技術科の一般選抜における募集人員は、大館国際情報学院中学校、秋田南高等学校中等部及び横手清陵学院中学校の生徒の進路確定状況により変動する。ただし、前期選抜については、別表1に示す募集人員のとおりとする。なお、確定後の一般選抜の募集人員は令和3年11月30日に、各高等学校のホームページに掲載する。

(注2) 御所野学院高等学校の一般選抜における募集人員は、御所野学院中学校の生徒を対象に学校が独自に実施する連携型中高一貫入学者選抜の状況により変動する。ただし、前期選抜については、別表1に示す募集人員のとおりとする。なお、確定後の一般選抜の募集人員は、令和4年2月4日に、御所野学院高等学校のホームページに掲載する。

(注3) 次の高等学校の定時制の課程は、各部ごとに募集する。  
 大館鳳鳴高等学校 秋田明德館高等学校  
 I部(昼間の部) I部(午前の部)  
 II部(夜間の部) II部(午後の部)  
 III部(夜間の部)

角館高等学校 横手高等学校  
 I部(午前の部) I部(昼間の部)  
 II部(午後の部) II部(夜間の部)

[別表2]

全日制の課程

【県北地区】

前期選抜における出願の条件及び配点等

◎選抜方法：入学者の選抜は、高等学校長が、調査書、志願理由書、学力検査又は口頭試問の成績、面接等の評価に関する資料及びその他必要な書類等によって総合的に行うものとする。

No.	学校名	学科名	出 願 の 条 件	一次選抜の有無	学校独自の提出書類の有無	学力検査(300点満点)	口頭試問	面接	作文・実技	調査書・学校独自の提出書類	備 考
1	花 輪	普 通	人物に優れ、基本的な生活習慣が身に付いており、右の条件1又は2のいずれかに該当する生徒。  人物に優れ、基本的な生活習慣が身に付いており、右の条件1又は2のいずれかに該当する生徒。	1 国語、社会、数学、理科、英語の学習成績が特に優秀で、大学進学という明確な進路目標をもち、本校入学後も意欲的に取り組むことができる生徒。 2 部活動において優れた活動をし、本校入学後も学習に力をいれながら当該部活動を継続し、中核的存在として活躍が期待できる生徒。 ◎運動部 種目は以下に示す部活動とし、(1)又は(2)に該当する生徒とする。 陸上競技、野球、バスケットボール、バレーボール、スキー、ソフトテニス、剣道、卓球 (1) (ア)団体種目(野球、バスケットボール、バレーボール)においては、全県規模以上の大会に選手として出場した、又はそれと同等の実力を有する生徒で、チームの中心選手として活躍した生徒。 (イ)個人種目(陸上競技、スキー、ソフトテニス、剣道、卓球)においては、都市規模の大会で3位以上若しくは全県規模以上の大会に出場又はそれらと同等の実力を有する生徒。 (2) 各種大会で中心選手として活躍した生徒。 例：強化指定選手、選抜選手等。 ※駅伝の大会成績を利用する場合は、(2)を適用する。 ◎文化部 吹奏楽コンクール又はアンサンブルコンテストの地区大会で銀賞以上を受賞した生徒。	○ ※1 150点 ※2	100点	100点		100点 ※	※ 調査書 (100点)	※1 学校独自の提出書類「前期選抜における活動実績報告書」を本校のホームページからダウンロードし、部活動における実績等を記入して提出すること。 ※2 学力検査(3教科の検査得点の合計300点満点を150点満点に換算) ※3 調査書(60点)、学校独自の提出書類(190点)
2	十和田	普 通	右の1～3の条件を全て満たす生徒。 ※ 志願理由書には、右の3を満たす具体的な実績又は状況を詳細に記載すること。	1 志望する動機・理由が明確であり、本校を第一希望とする意欲のある生徒。 2 基礎学力を有し、人物が優れている他の模範となる生徒。 3 部活動や生徒会活動においてリーダーとして活動した生徒、又は部活動において優れた資質能力若しくは実績があり、入学後も3年間継続できる生徒。		200点 ※1		100点		100点 ※2	※1 学力検査(3教科の検査得点の合計300点満点を200点満点に換算) ※2 調査書(100点)
3	小 坂	産 業 工 学	人物・学業成績ともに優秀で、右の1～3の全てに当てはまる生徒の出願を認める。  人物・学業成績ともに優秀で、右の1～3の全てに当てはまる生徒の出願を認める。	1 学習意欲が高く、将来は地域産業に貢献したいと考えている生徒。 2 「ものづくり」に興味があり、資格取得に積極的に取り組む意欲がある生徒。 3 体育的・文化的活動(部活動や学校外団体)、生徒会活動等に取り組む、本校入学後も意欲的に取り組もうとする強い意志のある生徒。		150点 ※1		100点		250点 ※2	※1 学力検査(3教科の検査得点の合計300点満点を150点満点に換算) ※2 調査書(250点)

# 前期選抜における出願の条件及び配点等

## 【県北地区】

◎選抜方法：入学者の選抜は、高等学校長が、調査書、志願理由書、学力検査又は口頭試問の成績、面接等の評価に関する資料及びその他必要な書類等によって総合的に行うものとする。

No.	学校名	学科名	出 願 の 条 件	一次選抜の有無	学校独自の提出書類の有無	学力検査(300点満点)	口頭試問	面接	作文・実技	調査書・学校独自の提出書類	備 考
4	大館鳳鳴	普通・理数	<p>中学校において、学習、特別活動等に積極的に取り組み、将来は大学への進学を希望していること。また、人物に優れ、入学後も他の生徒の模範となり、かつ右の1又は2のいずれかの条件を満たすこと。</p> <p>なお、どちらの条件でも出願するのか、志願理由書の1行目に明記すること。</p> <p>基本的な生活習慣が身に付いており、他の模範となる生徒で、将来、ふるさと秋田の発展に貢献する強い意欲をもち、かつ右の1、2のいずれかの条件を満たす生徒。</p> <p>なお、志願理由書の1行目に、自分が満たすと考える条件の番号一つを明記すること。</p>	○	○ ※1	300点 ※2	50点	50点 ※	※ 調査書 (50点)	※ 1 学校独自の提出書類を本校のホームページからダウンロードし、部活動等における実績を記入して提出すること。 ※ 2 学力検査 (3教科の検査得点の合計300点満点を150点満点に換算) ※ 3 調査書 (50点)、学校独自の提出書類 (20点)	
5	大館桂桜	普通・生活科学	<p>自分の将来について明確な目標をもち、4年制大学への進学や資格取得を目指して積極的に学習に取り組む強い意志のある生徒。</p> <p>2 特別活動等 (部活動、生徒会活動等) に積極的に参加しており、入学後も活動の中核として活躍する強い意志のある生徒。</p>	○ ※1	○ ※1	200点 ※2	100点	100点 ※	※ 1 学校独自の提出書類を本校のホームページからダウンロードし、活動の内容を証明すること。 ※ 2 学力検査 (3教科の検査得点の合計300点満点を200点満点に換算) ※ 3 調査書 (80点)、学校独自の提出書類 (20点)		
		機械 電気 土木・建築	<p>自分の将来について明確な目標をもち、専門性を生かした進路実現を目指し、資格取得などに積極的に取り組む強い意志のある生徒。</p> <p>2 特別活動等 (部活動、生徒会活動等) に積極的に参加しており、入学後も活動の中核として活躍する強い意志のある生徒。</p>	○ ※1	○ ※1	200点 ※2	200点	100点 ※	※ 1 学校独自の提出書類を本校のホームページからダウンロードし、活動の内容を証明すること。 ※ 2 学力検査 (3教科の検査得点の合計300点満点を200点満点に換算) ※ 3 調査書 (80点)、学校独自の提出書類 (20点)		

# 前期選抜における出願の条件及び配点等

## 【県北地区】

◎選抜方法：入学者の選抜は、高等学校長が、調査書、志願理由書、学力検査又は口頭試問の成績、面接等の評価に関する資料及びその他必要な書類等によって総合的に行うものとする。

No.	学校名	学科名	出願の条件	一次選抜の有無	学校独自の提出書類の有無	学力検査(300点満点)	口頭試問	面接	作文・実技	調査書・学校独自の提出書類	備考
6	大館国際情報学院	普通	<p>人物、学力に優れており、4年制大学進学への意志と目標をもち、右のいずれかを満たしていること。</p> <p>なお、志願理由書の最初にとどの条件で出願するかを明記すること。</p>		○ ※1	200点 ※1	60点	140点 ※2	140点 ※2	※1 学力検査(3教科の検査得点の合計300点満点を200点満点に換算) ※2 調査書(140点)	
						200点 ※2	60点	200点 ※3	※1 学校独自の提出書類を本校のホームページからダウンロードし、活動における実績等を記入して提出すること。 ※2 学力検査(3教科の検査得点の合計300点満点を200点満点に換算) ※3 調査書(120点)、学校独自の提出書類(20点)		
						140点 ※2	60点	200点 ※3	※1 学校独自の提出書類を本校のホームページからダウンロードし、部活動における実績等を記入して提出すること。 ※2 学力検査(3教科の検査得点の合計300点満点を140点満点に換算) ※3 調査書(90点)、学校独自の提出書類(110点)		
	国際情報	<p>人物、学力に優れており、進路希望実現への意志と目標をもち、右のいずれかを満たしていること。</p> <p>なお、志願理由書の最初にとどの条件で出願するかを明記すること。</p>	<p>1 各種資格を取得し、入学後も様々な検定試験に挑戦する意欲を有すること。</p> <p>2 生徒会活動や学級活動のリーダーとして実績があり、活躍が期待できること。</p> <p>3 文化的・体育的活動において顕著な実績を上げ、又は同等の優れた実力を有しており、入学後も当該部活動を継続する意志を有すること。</p>		○ ※1	200点 ※1	60点	140点 ※2	140点 ※2	※1 学力検査(3教科の検査得点の合計300点満点を200点満点に換算) ※2 調査書(140点)	
						200点 ※2	60点	140点 ※3	※1 学校独自の提出書類を本校のホームページからダウンロードし、活動における実績等を記入して提出すること。 ※2 学力検査(3教科の検査得点の合計300点満点を200点満点に換算) ※3 調査書(120点)、学校独自の提出書類(20点)		
						140点 ※2	60点	200点 ※3	※1 学校独自の提出書類を本校のホームページからダウンロードし、部活動における実績等を記入して提出すること。 ※2 学力検査(3教科の検査得点の合計300点満点を140点満点に換算) ※3 調査書(90点)、学校独自の提出書類(110点)		
	普通	<p>本校を志願する動機・理由が明確で、基本的生活習慣が身に付いており、右の1、2のいずれかに該当する生徒。</p>	<p>1 学力優秀であり、大学進学を目指し、意欲的に学習活動に取り組む生徒。</p> <p>2 基礎学力が身に付いており、部活動等において顕著な活躍をし、入学後も本校で当該活動を継続する強い意志がある生徒。ここでいう「顕著な活躍」とは、次のいずれかの条件を自安とする。 (1) 体育的活動の分野で主力として活躍し、全県大会出場の実績又は同等の優れた実力を有していること。 (2) 文化的活動の分野で全県大会以上の発表会、コンクール等に出場した実績又は同等の優れた実力を有していること。</p>		○ ※1	300点	150点	50点 ※	50点 ※	※ 調査書(50点)	
						150点 ※2	200点	150点 ※3	※1 学校独自の提出書類を本校のホームページからダウンロードし、部活動等における実績を記入して提出すること。 ※2 学力検査(3教科の検査得点の合計300点満点を150点満点に換算) ※3 調査書(50点)、学校独自の提出書類(100点)		
						150点 ※1	250点	100点 ※2	※1 学力検査(3教科の検査得点の合計300点満点を150点満点に換算) ※2 調査書(100点)		
7	秋田北鷹	<p>生物資源 緑地環境</p>	<p>本校を志願する動機・理由が明確で、基本的生活習慣が身に付いており、右の1、2のいずれかに該当する生徒。</p>		○ ※1	150点 ※2	200点	150点 ※3	150点 ※3	※1 学校独自の提出書類を本校のホームページからダウンロードし、部活動等における実績を記入して提出すること。 ※2 学力検査(3教科の検査得点の合計300点満点を150点満点に換算) ※3 調査書(50点)、学校独自の提出書類(100点)	
						150点 ※1	200点	150点 ※2	※1 学校独自の提出書類を本校のホームページからダウンロードし、部活動等における実績を記入して提出すること。 ※2 学力検査(3教科の検査得点の合計300点満点を150点満点に換算) ※3 調査書(50点)、学校独自の提出書類(100点)		



# 前期選抜における出願の条件及び配点等

## 【県北地区】

◎選抜方法：入学者の選抜は、高等学校長が、調査書、志願理由書、学力検査又は口頭試問の成績、面接等の評価に関する資料及びその他必要な書類等によって総合的に行うものとする。

No.	学校名	学科名	出 願 の 条 件	一次選抜の有無	学校独自の提出書類の有無	学力検査(300点満点)	口頭試問	面接	作文・実技	調査書・学校独自の提出書類	備 考
8	能 代	普通・理数	<p>本校を志願する理由が明確であるとともに、人物が優れ、かつ右の1又は2に該当する生徒。</p> <p>なお、志願理由として、「出願の条件」の1又は2のどちらかに該当するかを志願理由書の冒頭に明記すること。</p>	○	○ ※1	220点 ※1	35点	35点		45点 ※2	※1 学力検査（3教科の検査得点の合計300点満点を220点満点に換算） ※2 調査書（45点）
9	能代松陽	普通・国際コミュニケーション	<p>人物に優れ、本校を志望する動機・理由及び将来の進路目標が明確で、右の条件1又は2のいずれかに該当する生徒。</p>	○	○ ※1	300点	60点	50点		140点 ※	※ 調査書（140点）
		情報ビジネス	<p>人物に優れ、本校を志望する動機・理由及び将来の進路目標が明確で、右の条件1又は2のいずれかに該当する生徒。</p>	○	○ ※1	300点	60点	50点		150点 ※2	※1 学校独自の提出書類を本校のホームページからダウンロードし、部活動における実績等を記入して提出すること。 ※2 調査書（100点）、学校独自の提出書類（50点）
		機械・電気・建設	<p>基本的な生活習慣が身に付いていて、右の1、2のいずれかに該当する生徒。</p> <p>なお、1、2のどちらかに該当するかを志願理由書の冒頭に番号で明記すること。</p>	○	○ ※1	300点	35点	100点		65点 ※	※ 調査書（65点）
10	能代科学技術	生物資源・生活福祉	<p>基本的な生活習慣が身に付いていて、右の1、2のいずれかに該当する生徒。</p> <p>なお、1、2のどちらかに該当するかを志願理由書の冒頭に番号で明記すること。</p>	○	○ ※1	150点 ※2	35点	100点		150点 ※3	※1 学校独自の提出書類を本校のホームページからダウンロードし、必要事項を記入して提出すること。 ※2 学力検査（3教科の検査得点の合計300点満点を150点満点に換算） ※3 調査書（85点）、学校独自の提出書類（85点）

# 前期選抜における出願の条件及び配点等

## 【中央地区】

◎選抜方法：入学者の選抜は、高等学校長が、調査書、志願理由書、学力検査又は口頭試問の成績、面接等の評価に関する資料及びその他必要な書類等によって総合的に行うものとする。

No.	学校名	学科名	出 願 の 条 件	一次選抜の有無	学校独自の提出書類	学力検査(300点満点)	口頭試問	面接	作文・実技	調査書・学校独自の提出書類	備 考
11	五城目	普通	生活態度及び学習への取組が良好で、かつ右のいずれかの条件を満たしている生徒。 右の1の条件を満たし、2又は3のいずれかに該当する生徒。 右の1の条件を満たし、2又は3のいずれかに該当する生徒。			150点 ※1		100点		250点 ※2	※1 学力検査(3教科)の検査得点の合計300点満点を150点満点に換算 ※2 調査書(250点)
		普通	右の1の条件を満たし、2又は3のいずれかに該当する生徒。 右の1の条件を満たし、2又は3のいずれかに該当する生徒。			150点 ※1		200点		100点 ※2	※1 学力検査(3教科)の検査得点の合計300点満点を150点満点に換算 ※2 調査書(100点)
12	男鹿海洋	海洋	右の1の条件を満たし、2又は3のいずれかに該当する生徒。 右の1の条件を満たし、2又は3のいずれかに該当する生徒。			150点 ※1		200点		100点 ※2	※1 学力検査(3教科)の検査得点の合計300点満点を150点満点に換算 ※2 調査書(100点)
		食品科学	右の1の条件を満たし、2又は3のいずれかに該当する生徒。 右の1の条件を満たし、2又は3のいずれかに該当する生徒。			150点 ※1		200点		100点 ※2	※1 学力検査(3教科)の検査得点の合計300点満点を150点満点に換算 ※2 調査書(100点)
		機械	右の1の条件を満たし、2又は3のいずれかに該当する生徒。 右の1の条件を満たし、2又は3のいずれかに該当する生徒。			200点 ※1		50点		50点 ※2	※1 学力検査(3教科)の検査得点の合計300点満点を200点満点に換算 ※2 調査書(50点)
13	男鹿工業	電気電子 設備システム	右の条件1又は2を満たしている生徒。 右の条件1又は2を満たしている生徒。			100点 ※2		50点		150点 ※3	※1 学校独自の提出書類を本校のホームページからダウンロードし、部活動における実績等を記入して提出すること。 ※2 学力検査(3教科)の検査得点の合計300点満点を100点満点に換算 ※3 調査書(50点)、学校独自の提出書類(100点)
		普通	本校を希望する明確な動機をもち、学校生活において、右の1又は2のいずれかに該当する生徒。 志願理由書の右上欄外に、1又は2を明記すること。	○		200点 ※1		50点		50点 ※2	※1 学力検査(3教科)の検査得点の合計300点満点を200点満点に換算 ※2 調査書(50点)
14	秋田西	普通	本校を希望する明確な動機をもち、学校生活において、右の1又は2のいずれかに該当する生徒。 志願理由書の右上欄外に、1又は2を明記すること。	○		100点 ※2		50点		150点 ※3	※1 学校独自の提出書類を本校のホームページからダウンロードし、部活動における実績等を記入して提出すること。 ※2 学力検査(3教科)の検査得点の合計300点満点を100点満点に換算 ※3 調査書(50点)、学校独自の提出書類(100点)
		生物資源 環境土木	当該学科の学習内容に興味をもち、基本的な生活習慣及び学習習慣が身に付いている、自主・勤劳・感謝の精神に富む生徒で、右の条件1又は2のいずれかに該当する者。			210点 ※1		45点		95点 ※2	※1 学力検査(3教科)の検査得点の合計300点満点を210点満点に換算 ※2 調査書(95点)
15	金足農業	食品流通 造園緑地 生活科学	当該学科の学習内容に興味をもち、基本的な生活習慣及び学習習慣が身に付いている、自主・勤劳・感謝の精神に富む生徒で、右の条件1又は2のいずれかに該当する者。			120点 ※2		60点		170点 ※3	※1 学校独自の提出書類を本校のホームページからダウンロードし、部活動における実績等を記入して提出すること。 ※2 学力検査(3教科)の検査得点の合計300点満点を120点満点に換算 ※3 調査書(65点)、学校独自の提出書類(105点)

# 前期選抜における出願の条件及び配点等

## 【中央地区】

◎選抜方法：入学者の選抜は、高等学校長が、調査書、志願理由書、学力検査又は口頭試問の成績、面接等の評価に関する資料及びその他必要な書類等によって総合的に行うものとする。

No.	学校名	学科名	出願の条件	一次選抜の有無	学校独自の提出書類の有無	学力検査(300点満点)	口頭試問	面接	作文・実技	調査書・学校独自の提出書類	備考
16	秋田	普通・理数	右の1又は2に該当する生徒。 なお、志願理由書には自分満たすと考える条件の番号(1、2)を明記すること。併記も可とする。	○		150点 ※1	60点	60点		120点 ※2	※1 学力検査(3教科の検査得点の合計300点満点を150点満点に換算) ※2 調査書(120点)
17	秋田北	普通	右の1又は2のいずれかの条件を満たす生徒。	○		150点 ※1	60点	60点		120点 ※2	※1 学力検査(3教科の検査得点の合計300点満点を150点満点に換算) ※2 調査書(120点)
18	秋田南	普通	志願理由書に出願の条件を満たす者であること。また、条件1、条件2のいずれかに該当するかを明記すること。	○	○ ※1	150点 ※2	40点	40点		110点 ※3	※1 学力検査(3教科の検査得点の合計300点満点を150点満点に換算) ※2 調査書(50点)、学校独自の提出書類(60点)
19	秋田中央	普通	人物に優れ、明確な志望動機と旺盛な学習意欲を有し、右の1又は2のいずれかの条件に該当する生徒。	○	○ ※1	200点 ※1	50点	50点		50点 ※2	※1 学力検査(3教科の検査得点の合計300点満点を200点満点に換算) ※2 調査書(50点)
			右の1又は2のいずれかの条件を満たすこと。	○	○ ※1	100点 ※2	70点	70点		130点 ※3	※1 学校独自の提出書類を本校のホームページからダウンロードし、部活動における実績等を記入して提出すること。 ※2 学力検査(3教科の検査得点の合計300点満点を100点満点に換算) ※3 調査書(60点)、学校独自の提出書類(70点)
			1 数学、理科の成績が優秀であり、数学や理科の研究活動において顕著な実績がある。又はそれと同等の資質・能力を有し、入学後も躍進探究部に所属するなど研究活動に取り組む、理数系の国公立大学等への進学を目指す生徒。 2 大学への進学を希望するなど相当な学力を有し、体育的又は文化的活動において顕著な実績がある。又はそれと同等の資質・能力を有し、入学後も部活動において中核的な存在として活動できる生徒。	○	○ ※1	300点	100点	100点		100点 ※2	※1 学校独自の提出書類を本校のホームページからダウンロードし、部活動や総合的な学習の時間等で取り組んだ研究活動等を記入して提出すること。 ※2 調査書(65点)、学校独自の提出書類(35点)
			1 学力、人物が時に優れており、全教科にわたって卓越した成績を維持し、全校やクラスのリーダーとして活躍すること。また、将来、国際的な視野を備えたリーダーとして社会に貢献しようとする高い志と能力を有すること。 2 学力、人物に優れ、本校にある部活動において、全県トップレベルで活躍できるような実績や能力(全国大会・東北大会に出場、県以上の強化指定選手、又はこれらに相当する実績や能力)を有し、入学後も学業との両立を図りながら、部活動を継続する確固たる意志を有すること。 ※ 条件2で出願する場合は、本校所定の様式「活動実績報告書」を志願理由書と一緒に提出すること。	○	○ ※1	150点 ※2	100点	100点		250点 ※3	※1 学校独自の提出書類を本校のホームページからダウンロードし、部活動における実績等を記入して提出すること。 ※2 学力検査(3教科の検査得点の合計300点満点を150点満点に換算) ※3 調査書(130点)、学校独自の提出書類(120点)

## 前期選抜における出願の条件及び配点等

### 【中央地区】

◎選抜方法：入学者の選抜は、高等学校長が、調査書、志願理由書、学力検査又は口頭試問の成績、面接等の評価に関する資料及びその他必要な書類等によって総合的に行うものとする。

No.	学校名	学科名	出 願 の 条 件	一次選抜の有無	学校独自の提出書類の有無	学力検査(300点満点)	口頭試問	面接	作文・実技	調査書・学校独自の提出書類	備 考
			人物に優れ、本校を志願する動機や理由が明確かつ適切であり、右の条件1又は2のいずれかに該当すること。	○		300点		35点		65点 ※	※ 調査書 (65点)
20	新屋	普通	なお、志願理由書に1、2のいずれかに該当するかを明記すること。 また、2に該当する場合は、顕著な活動について主な実績(学年、大会名、成績)等も具体的に志願理由書に記載すること。	○		100点 ※1		150点		150点 ※2	※1 学力検査(3教科の検査得点の合計300点満点を100点満点に換算) ※2 調査書(150点)
21	秋田工業	機械 電気エネルギー 土木 建築 工業化学	右の1と2の条件をどちらにも満たしている生徒。	○	○ ※1	100点 ※2		40点		160点 ※3	※1 学校独自の提出書類を本校のホームページからダウンロードし、部活動等における実績等を記入して提出すること。 ※2 学力検査(3教科の検査得点の合計300点満点を100点満点に換算) ※3 調査書(60点)、学校独自の提出書類(100点)
23	秋田商業	商業	右の1～3の全ての条件を満たす生徒。		○ ※1	120点 ※2		40点		170点 ※3	※1 学校独自の提出書類を本校のホームページからダウンロードし、部活動等における実績等を記入して提出すること。 ※2 学力検査(3教科の検査得点の合計300点満点を120点満点に換算) ※3 調査書(45点)、学校独自の提出書類(125点)
				○		300点		35点		65点	※ 調査書(65点)
24	御所野学院	普通	右の条件1又は2を満たしている生徒。	○	○ ※1	150点 ※2		100点		150点 ※3	※1 学校独自の提出書類を本校のホームページからダウンロードし、部活動における実績等を記入して提出すること。 ※2 学力検査(3教科の検査得点の合計300点満点を150点満点に換算) ※3 調査書(65点)、学校独自の提出書類(85点)

# 前期選抜における出願の条件及び配点等

## 【中央地区】

◎選抜方法：入学者の選抜は、高等学校長が、調査書、志願理由書、学力検査又は口頭試問の成績、面接等の評価に関する資料及びその他必要な書類等によって総合的に行うものとする。

No.	学校名	学科名	出 願 の 条 件	一次選抜の有無	学校独自の提出書類の有無	学力検査(300点満点)	口頭試問	面接	作文・実技	調査書・学校独自の提出書類	備 考
25	本 荘	普 通	<p>1 中学校での学習成績が優良で、本校設置の部活動又はそれに相当する種目において、県大会以上での顕著な実績又は早稲した能力を有し、入学後も学習活動に意欲的に取り組みなから部活動を継続する、確固たる意志をもつ生徒。</p> <p>なお、1、2(1)、2(2)のいずれの条件で出願するかを、志願理由書の1行目に明記すること。条件1で出願する場合、本校が指定する書類に必要事項を記入し提出すること。</p>	○	○ ※1	135点 ※2	100点	100点		165点 ※3	※1 学校独自の提出書類を本校のホームページからダウンロードし、部活動における実績等を記入して提出すること。 ※2 学力検査（3教科の検査得点の合計300点満点を135点満点に換算） ※3 調査書（50点）、学校独自の提出書類（115点）
26	由 利	普通・理数・国際	<p>1 知的好奇心や探究心が旺盛で、本校卒業後大学進学への意志が明確であり、次のいずれかを満たしている生徒。 ア 学習に興味・関心をもって主体的に取り組んでおり、理系科目の学力に優れ、理数科での活躍が期待できる。 イ 学習に興味・関心をもって主体的に取り組んでおり、文系科目の学力に優れ、国際科での活躍が期待できる。</p> <p>2 基礎学力が身に付いており、体育的・文化的活動（部活動や学校外団体）において予選を冠した全県大会以上の実績、若しくはそれと同等な能力を有し、入学後も本校の部活動において中核的存在としての活躍が期待できる生徒。</p>	○	○ ※1	200点 ※1	100点	100点		100点 ※2	※1 学力検査（3教科の検査得点の合計300点満点を200点満点に換算） ※2 調査書（100点）
27	由利工業	機械 電気 環境システム 建築	<p>本校を志望する理由が明確かつ適切で、右の条件1又は2のいずれかに該当し、中学校生活の充実度が認められる生徒。</p>			150点 ※2	90点	90点		150点 ※3	※1 学校独自の提出書類を本校のホームページからダウンロードし、必要事項を記入して提出すること。 ※2 学力検査（3教科の検査得点の合計300点満点を150点満点に換算） ※3 調査書（100点）、学校独自の提出書類（50点）
			<p>1 学習成績が良好で、工業に関する学習や資格取得に強い興味・関心があり、本校入学後も専門知識や技術・技能を習得し、大学の工学部等への進学や専門分野への就職を目指す生徒。</p> <p>2 体育的・文化的活動や生徒会役員としての実績が顕著であるか、個人的に優れた能力を有し、本校入学後もその活動を続け中核的存在として活躍が期待できる生徒。</p>		○ ※1	150点 ※1	90点	90点		60点 ※2	※1 学力検査（3教科の検査得点の合計300点満点を150点満点に換算） ※2 調査書（60点）
						75点 ※2	90点	90点		135点 ※3	※1 学校独自の提出書類を本校のホームページよりダウンロードし、活動実績等を記入して提出すること。 ※2 学力検査（3教科の検査得点の合計300点満点を75点満点に換算） ※3 調査書（45点）、学校独自の提出書類（90点）

# 前期選抜における出願の条件及び配点等

## 【中央地区】

◎選抜方法：入学者の選抜は、高等学校長が、調査書、志願理由書、学力検査又は口頭試問の成績、面接等の評価に関する資料及びその他必要な書類等によって総合的に行うものとする。

No.	学校名	学科名	出 願 の 条 件	一次選抜の有無	学校独自の提出書類の有無	学力検査(300点満点)	口頭試問	面接	作文・実技	調査書・学校独自の提出書類	備 考
28	矢 鳥	普 通	本校への進学理由が明確であり、学習への取組及び人物が良好で、基本的な生活習慣及び基本的な学力が身に付いており、右の1～3のいずれかに該当する生徒。  基礎学力及び基本的な生活習慣が身に付いており、本校を志願する理由が明確で、右の1～3のいずれかに該当する生徒。 ※ 志願理由書には、1～3のいずれかで志願するか、一つ明記すること。			300点		A～C ※1		45点 ※2	面接は、A、B、Cの3段階で評価する。 ※1 調査書 (45点) ※2
29	西 目	総合学科	本校を志望する動機が明確で、基礎学力・基本的な生活習慣が身に付いており、積極的に地域貢献に関わる強い意欲をもつ生徒で、右の1又は2に該当する生徒。 ※ 志願理由書には、条件1又は2のいずれかを明記すること。			200点 ※1		100点		100点 ※2	※1 学力検査 (3教科の検査得点の合計300点満点を200点満点に換算) ※2 調査書 (100点)
		普 通	本校を志望する動機が明確で、基礎学力・基本的な生活習慣が身に付いており、積極的に地域貢献に関わる強い意欲をもつ生徒で、右の1又は2に該当する生徒。 ※ 志願理由書には、条件1又は2のいずれかを明記すること。			150点 ※1		100点		150点 ※2	※1 学力検査 (3教科の検査得点の合計300点満点を200点満点に換算) ※2 調査書 (100点)
30	仁賀保	情報メディア	本校を志望する動機が明確で、基礎学力・基本的な生活習慣が身に付いており、将来IT産業での活躍又は積極的な地域貢献に強い意欲をもつ生徒で、右の1又は2に該当する生徒。 ※ 志願理由書には、条件1又は2のいずれかを明記すること。			300点		100点		100点 ※	※ 調査書 (100点)
		普 通	本校を志望する動機が明確で、基礎学力・基本的な生活習慣が身に付いており、積極的に地域貢献に関わる強い意欲をもつ生徒で、右の1又は2に該当する生徒。 ※ 志願理由書には、条件1又は2のいずれかを明記すること。			150点 ※1		200点		150点 ※2	※1 学力検査 (3教科の検査得点の合計300点満点を150点満点に換算) ※2 調査書 (150点)
		普 通	本校を志望する動機が明確で、基礎学力・基本的な生活習慣が身に付いており、積極的に地域貢献に関わる強い意欲をもつ生徒で、右の1又は2に該当する生徒。 ※ 志願理由書には、条件1又は2のいずれかを明記すること。			300点		100点		100点 ※	※ 調査書 (100点)
		情報メディア	本校を志望する動機が明確で、基礎学力・基本的な生活習慣が身に付いており、積極的に地域貢献に関わる強い意欲をもつ生徒で、右の1又は2に該当する生徒。 ※ 志願理由書には、条件1又は2のいずれかを明記すること。			150点 ※1		200点		150点 ※2	※1 学力検査 (3教科の検査得点の合計300点満点を150点満点に換算) ※2 調査書 (150点)

# 前期選抜における出願の条件及び配点等

## 【県南地区】

◎選抜方法：入学者の選抜は、高等学校長が、調査書、志願理由書、学力検査又は口頭試問の成績、面接等の評価に関する資料及びその他必要な書類等によって総合的に行うものとする。

No.	学校名	学科名	出願の条件	一次選抜の有無	学校独自の提出書類の有無	学力検査(300点満点)	口頭試問	面接	作文・実技	調査書・学校独自の提出書類	備考	
31	西仙北	普通	<p>本校を志願する明確な動機・理由をもち、基本的な生活習慣及び学習習慣が身に付いており、右のいずれかに該当する生徒。</p> <p>なお、志願理由書には、右の条件1～3のいずれかで出願するかを明記すること。条件2又は条件3で出願する場合には、学校独自の提出書類を提出すること。</p>			90点 ※1	60点	60点		150点 ※2	※1 学力検査(3教科の検査得点の合計300点満点を90点満点に変換) ※2 調査書(150点)	
				1 学習への取組が良好で、進学や就職など明確な進路目標をもち、その実現に向けて努力する生徒。			90点 ※2	60点	60点		150点 ※3	※1 学校独自の提出書類を本校のホームページからダウンロードし、地域の記事やボランティア活動等における実績等を記入し提出すること。 ※2 学力検査(3教科の検査得点の合計300点満点を90点満点に変換) ※3 調査書(60点)、学校独自の提出書類(90点)
				2 地域の行事やボランティア活動等への参加が積極的で、入学後3年間、ボランティア活動等の団体に所属し、活動を継続する生徒。			90点 ※2	60点	60点		150点 ※3	※1 学校独自の提出書類を本校のホームページからダウンロードし、部活動等における実績等を記入し提出すること。 ※2 学力検査(3教科の検査得点の合計300点満点を90点満点に変換) ※3 調査書(60点)、学校独自の提出書類(90点)
大曲農業	大曲分校	普通	<p>農業及び当該学科の学習内容に関心が強く、基本的な生活習慣及び学習習慣が身に付いていて、右のいずれか一つの条件を満たしていること。</p> <p>なお、出願の際、志願理由書の1行目に右記条件1～3のいずれかで出願するかを明記すること。また、出願条件3で出願する者は、学校独自の提出書類(本校様式)を提出すること。</p> <p>本校を志願する理由が明確で、入学後も学習に意欲的に取り組み、右のどちらかの条件を満たす生徒。</p> <p>なお、出願の際、志願理由書の1行目に右記条件1、2のいずれかで出願するかを明記すること。</p>	○	○	180点 ※1	80点	80点		140点 ※2	※1 学力検査(3教科の検査得点の合計300点満点を180点満点に変換) ※2 調査書(140点)	
				1 入学後に専門の学習を深め、将来は地域社会のリーダーとして貢献しようとする意欲があること。			120点 ※2	100点	100点		180点 ※3	※1 学校独自の提出書類を本校のホームページからダウンロードし、必要事項を記入して提出すること。 ※2 学力検査(3教科の検査得点の合計300点満点を120点満点に変換) ※3 調査書(110点)、学校独自の提出書類(70点)
				2 入学後に専門の学習を深め、将来は専門性を活かして大学へ進学する強い意欲があること。								135点 ※2
大曲	大曲	普通	<p>本校を志願する理由が明確で、入学後も学習に意欲的に取り組み、右のどちらかの条件を満たす生徒。</p> <p>なお、出願の際、志願理由書の1行目に右記条件1、2のいずれかで出願するかを明記すること。</p> <p>右の1又は2に該当する生徒。</p>	○	○	300点	20点	20点		140点 ※2	※1 学校独自の提出書類を本校のホームページからダウンロードし、部活動における実績がわかる資料を添付して提出すること。 ※2 調査書(60点)、学校独自の提出書類(80点)	
				1 中学校3年間で通じて学習成績が優秀で、運動部や文化部などに興味・関心が強く、入学後は大学進学などの進路希望を強くもち、商業の学習に関わる資格取得にも積極的に取り組むなど、その実現のため学習及び生活習慣を確立し、他の生徒の模範となつて努力する生徒。			300点	25点	25点		135点 ※2	※1 学校独自の提出書類を本校のホームページからダウンロードし、部活動における実績がわかる資料を添付して提出すること。 ※2 調査書(60点)、学校独自の提出書類(80点)
				2 中学校3年間で通じて成績が優良で、特に商業や情報の学習に興味・関心が強く、入学後は大学進学などの進路希望を強くもち、商業の学習に関わる資格取得にも積極的に取り組むなど、その実現のため学習及び生活習慣を確立し、他の生徒の模範となつて努力する生徒。			300点	20点	20点		140点 ※2	※1 学校独自の提出書類を本校のホームページからダウンロードし、部活動における実績がわかる資料を添付して提出すること。 ※2 調査書(60点)、学校独自の提出書類(80点)

# 前期選抜における出願の条件及び配点等

## 【県南地区】

◎選抜方法：入学者の選抜は、高等学校長が、調査書、志願理由書、学力検査又は口頭試問の成績、面接等の評価に関する資料及びその他必要な書類等によって総合的に行うものとする。

No.	学校名	学科名	出 願 の 条 件	一次選抜の有無	学校独自の提出書類の有無	学力検査(300点満点)	口頭試問	面接	作文・実技	調査書・学校独自の提出書類	備 考
34	大曲工業	機械 電気 土木・建築	人物に優れ、当該学科に志望する動機・理由が明確かつ適切で、学業に打ち込み意志が強く、右の条件1、2のいずれかかに該当する生徒。 なお、志願理由書の最初に条件1、2のどちらかで出願するかを明記すること。 人物が優秀かつ学習意欲が旺盛であり、本校を志望する動機・理由が明確な生徒で、右の条件1又は2のいずれかに該当する生徒。 なお、志願理由書には条件1、2のどちらかに該当するかを明記すること。			300点	100点			※ 調査書 (100点)	
35	角館	普通	人物に優れ、文化的活動において、大会等で団体もしくは個人で顕著な成績を上げた生徒。又はこれらと同等の優れた能力を有する生徒。 いすれも、入学後も活動を継続し、活躍が期待できる生徒。 1 高い学力を有し、特に国語、数学、英語に優れ、自らの将来についての明確な目標をもち、特別進学クラスで進学を目指す生徒。 2 体育的活動、文化的活動で郡市以上の大会・コンクール等において団体若しくは個人として顕著な実績を上げた生徒。又は抜群の技量、資質を有し、今後の活躍が期待される生徒。いすれも本校の該当部活動に入部し、意欲的に取り組む意思があること。		○ ※1	150点 ※2	100点			※1 学校独自の提出書類を本校のホームページからダウンロードし、必要事項を記入して提出すること。 ※2 学力検査(3教科の検査得点の合計300点満点を150点満点に換算) ※3 調査書(100点)、学校独自の提出書類(50点)	
36	六郷	普通・福祉	右のいずれかの条件を満たしていること。 なお、右のいずれかの条件で出願するのかわを志願理由書に番号で明記すること。			120点 ※1	80点			※1 学力検査(3教科の検査得点の合計300点満点を120点満点に換算) ※2 調査書(200点)	
37	横手	普通・理数	本校を志願する理由が明確で、右の1、2のいずれかの条件を満たす生徒。 なお、志願理由書の最初に1、2のいずれかで出願するかを明記すること。また、2の条件で出願する場合は、高校で継続する部活動名を記入すること。	○		150点 ※1	70点			※1 学力検査(3教科の検査得点の合計300点満点を150点満点に換算) ※2 調査書(80点)	



# 前期選抜における出願の条件及び配点等

## 【県南地区】

◎選抜方法：入学者の選抜は、高等学校長が、調査書、志願理由書、学力検査又は口頭試問の成績、面接等の評価に関する資料及びその他必要な書類等によって総合的に行うものとする。

No.	学校名	学科名	出 願 の 条 件	一次選抜の有無	学校独自の提出書類の有無	学力検査(300点満点)	口頭試問	面接	作文・実技	調査書・学校独自の提出書類	備 考
38	横手城南 清陵学院	普通	人物に優れ、本校を志望する動機・理由及び将来の進路目標が明確で、右の1、2の条件のいずれかにも該当する生徒。 ※ 志願理由書には、右記の1、2のいずれかの条件かを明記すること。		○ ※1	180点 ※1 120点 ※2	55点	90点		※1 学力検査(3教科)の検査得点の合計300点満点を180点満点に換算) ※2 調査書(65点) ※1 学校独自の提出書類を本校のホームページからダウンロードし、部活動における実績等を記入して提出すること。また、必要書類を添付すること。 ※2 学力検査(3教科)の検査得点の合計300点満点を120点満点に換算) ※3 調査書(45点)、学校独自の提出書類(45点)	
		普通	人物に優れ、基本的生活習慣が身に付いており、右の1、2全てに当てはまる生徒の出願を認める。	○	○ ※1	100点 ※2	100点			※1 学校独自の提出書類を本校ホームページからダウンロードし、必要事項を記入して提出すること。 ※2 学力検査(3教科)の検査得点の合計300点満点を100点満点に換算) ※3 調査書(50点)、学校独自の提出書類(50点)	
39	横手城南 清陵学院	総合技術	本校普通科を志望する動機・理由が明確で、右のいずれかにも該当する生徒。 ※ 志願理由書の最初に、出願の条件1・2のどちらかで志願するのかを明記すること。	○	○ ※1	90点 ※1	75点			※1 学力検査(3教科)の検査得点の合計300点満点を90点満点に換算) ※2 調査書(135点)	
		普通	本校総合ビジネス科を志望する動機・理由が明確で、右のいずれかにも該当する生徒。 ※ 志願理由書の最初に、出願の条件1・2のどちらかで志願するのかを明記すること。	○	○	60点 ※1	90点			※1 学力検査(3教科)の検査得点の合計300点満点を60点満点に換算) ※2 調査書(150点)	
40	平成	総合ビジネス	本校を志願する理由と将来の進路目標が明確で、右の条件1又は2のいずれかを満たしている生徒。 なお、志願理由書には1、2のどちらかで志願するのかを明記すること。	○	○	200点 ※1	140点			※1 学力検査(3教科)の検査得点の合計300点満点を200点満点に換算) ※2 調査書(60点)	
		普通	人物に優れ、本校を志望する動機・理由及び将来の進路目標が明確で、右の1、2の条件のいずれかにも該当する生徒。 ※ 志願理由書には、右記の1、2のいずれかの条件かを明記すること。	○	○	200点 ※1	140点			※1 学力検査(3教科)の検査得点の合計300点満点を200点満点に換算) ※2 調査書(60点)	

## 前期選抜における出願の条件及び配点等

### 【県南地区】

◎選抜方法は、入学者の選抜は、高等学校長が、調査書、志願理由書、学力検査又は口頭試問の成績、面接等の評価に関する資料及びその他必要な書類等によって総合的に行うものとする。

No.	学校名	学科名	出 願 の 条 件	一次 選抜 有無	学校 独自の 提出書類 有無	学力検査 (300点満点)	口頭 試問	面接	作文 ・ 実技	調査書・ 学校独自の 提出書類	備 考
42	増 田	総合学科	<p>1 次のいずれかに該当する生徒。                      (1) 入学後、4年制大学等への進学を目指し、各種の資格取得に意欲的に取り組む生徒。                      (2) 生徒会活動や学級活動に熱心に取り組み、生徒会長や副会長、学級委員長などリーダー的な役割を果たした生徒。</p> <p>2 体育的活動や文化的活動等で顕著な実績があるか同等の能力があり、入学後も部活動に入部し3年間継続する強い意志がある生徒。</p>	○		180点 ※1	100点	100点		120点 ※2	※1 学力検査（3教科の検査得点の合計300点満点を180点満点に換算） ※2 調査書（120点）
		農業科学	<p>本学科を志望する理由が明確で、基本的な生活習慣が身に付いており、右の1又は2に該当する生徒。</p>	○		180点 ※1	100点	150点		130点 ※2	※1 学力検査（3教科の検査得点の合計300点満点を120点満点に換算） ※2 調査書（130点）
43	湯 沢	普通・理数	<p>右の1又は2の条件のいずれかに該当している生徒。</p>	○	○ ※1	150点 ※1	50点	70点		130点 ※3	※1 学力検査（3教科の検査得点の合計300点満点を150点満点に換算） ※2 調査書（100点） ※3 学校独自の提出書類を本校のホームページからダウンロードし、部活動における実績等を記入して提出すること。 ※2 学力検査（3教科の検査得点の合計300点満点を100点満点に換算） ※3 調査書（90点）、学校独自の提出書類（40点）

# 前期選抜における出願の条件及び配点等

## 【県南地区】

◎選抜方法：入学者の選抜は、調査書、志願理由書、学力検査又は口頭試問の成績、面接等の評価に関する資料及びその他必要な書類等によって総合的に行うものとする。

No.	学校名	学科名	出 願 の 条 件	一次選抜の有無	学校独自の提出書類	学力検査(300点満点)	口頭試問	面接	作文・実技	調査書・学校独自の提出書類	備 考
44	湯沢朝北	普通	本校を志望する理由が明確で、基礎学力を有し、学業的に送り、右の1～3のいずれかの条件を満たす生徒。	○		150点 ※1		100点		100点 ※2	志願理由書に条件1によることを明記すること。また、将来の進路目標や学習への取組等も具体的に志願理由書に記載すること。 ※1 学力検査(3教科の検査得点の合計300点満点を150点満点に換算) ※2 調査書100点
			本校を志望する理由が明確で、基礎学力を有し、学業的に送り、右の1～3のいずれかの条件を満たす生徒。	○		100点 ※1		150点		100点 ※2	志願理由書に条件2・3のいずれかによるかを明記すること。また、2については主な実績(出場した最上位大会名、成績、学年)等、3については役職や取組等も具体的に志願理由書に記載すること。 ※1 学力検査(3教科の検査得点の合計300点満点を100点満点に換算) ※2 調査書100点
			本校を志望する理由が明確で、基礎学力を有し、学業的に送り、右の1～3のいずれかの条件を満たす生徒。	○		150点 ※1		100点		100点 ※2	志願理由書に条件1によることを明記すること。また、将来の進路目標や学習への取組等も具体的に志願理由書に記載すること。 ※1 学力検査(3教科の検査得点の合計300点満点を150点満点に換算) ※2 調査書100点
44	総合ビジネス	工業技術	本校を志望する理由が明確で、基礎学力を有し、学業的に送り、右の1～3のいずれかの条件を満たす生徒。	○		150点 ※1		100点		100点 ※2	志願理由書に条件1によることを明記すること。また、将来の進路目標や学習への取組等も具体的に志願理由書に記載すること。 ※1 学力検査(3教科の検査得点の合計300点満点を150点満点に換算) ※2 調査書100点
			本校を志望する理由が明確で、基礎学力を有し、学業的に送り、右の1～3のいずれかの条件を満たす生徒。	○		100点 ※1		150点		100点 ※2	志願理由書に条件2・3のいずれかによるかを明記すること。また、2については主な実績(出場した最上位大会名、成績、学年)等、3については役職や取組等も具体的に志願理由書に記載すること。 ※1 学力検査(3教科の検査得点の合計300点満点を100点満点に換算) ※2 調査書100点
			本校を志望する理由が明確で、基礎学力を有し、学業的に送り、右の1～3のいずれかの条件を満たす生徒。	○		150点 ※1		100点		100点 ※2	志願理由書に条件1によることを明記すること。また、将来の進路目標や学習への取組等も具体的に志願理由書に記載すること。 ※1 学力検査(3教科の検査得点の合計300点満点を150点満点に換算) ※2 調査書100点
45	雄勝校	普通	本校を志望する理由が明確で、基礎学力を有し、学業的に送り、右の1～3のいずれかの条件を満たす生徒。	○	○ ※1	100点 ※2		70点		130点 ※3	※1 学校独自の提出書類を本校のホームページからダウンロードし、必要事項を記入して提出すること。 ※2 学力検査(3教科合計300点満点を100点満点に換算) ※3 調査書(80点)、提出書類(50点)
			本校を志望する理由が明確で、基礎学力を有し、学業的に送り、右の1～3のいずれかの条件を満たす生徒。			120点 ※1		90点		90点	※1 学力検査(3教科の検査得点の合計300点満点を120点満点に換算) ※2 調査書(90点)
			本校を志望する理由が明確で、基礎学力を有し、学業的に送り、右の1～3のいずれかの条件を満たす生徒。			120点 ※1		90点		90点 ※2	※1 学力検査(3教科の検査得点の合計300点満点を120点満点に換算) ※2 調査書(90点)
45	羽 後	普通	本校を志望する理由が明確で、基礎学力を有し、学業的に送り、右の1～3のいずれかの条件を満たす生徒。			120点 ※1		90点		90点 ※2	※1 学力検査(3教科の検査得点の合計300点満点を120点満点に換算) ※2 調査書(90点)
			基本的な生活習慣が身に付いており、本校を志望する動機が明確で右の1～3のいずれかの条件に当てはまる生徒。			120点 ※1		90点		90点 ※2	※1 学力検査(3教科の検査得点の合計300点満点を120点満点に換算) ※2 調査書(90点)
			生徒会活動やボランティア活動を積極的に行ってきた生徒で、本校入学後もこれらの活動を3年間継続して取り組む意志のある生徒。			120点 ※1		90点		90点 ※2	※1 学力検査(3教科の検査得点の合計300点満点を120点満点に換算) ※2 調査書(90点)

# 前期選抜における出願の条件及び配点等

## 定時制の課程

◎選抜方法：入学者の選抜は、高等学校長が、調査書、志願理由書、学力検査又は口頭試問の成績、面接等の評価に関する資料及びその他必要な書類等によって総合的に行うものとする。

No.	学校名	学科名	出 願 の 条 件	一次 選抜 有無	学校 独自の 提出書類 有無	学力検査 (300点満点)	口頭 試問	面接	作文 ・ 実技	調査書・ 学校独自の 提出書類	備 考
4	大館鳳鳴	普通Ⅰ部	本校を志願する動機が明確で、人物に優れ、基本的な生活習慣が確立されており、卒業まで学業を続ける強い意志をもち、右の条件に該当する生徒。			200点 ※1		100点		100点 ※2	※1 学力検査（3教科の検査得点の合計300点満点を200点満点に換算） ※2 調査書（100点）
		普通Ⅱ部									
8	能 代	普 通	本校への志願動機が明確で、右の条件1、2を全て満たす生徒。 なお、右の条件1、2を踏まえた志願動機を、志願理由書に記載すること。			300点		A～C ※			※ 面接はA、B、Cの3段階で評価する。
22	秋田明徳館	普通Ⅰ部 普通Ⅱ部 普通Ⅲ部	本校の学びのスタイルを理解し、明確な志願動機と学業を全うする強い意志をもつ生徒であり、右のいずれかに該当すること。 ※ 志願理由書の冒頭に、自分が満たすと考える条件の番号1～3のいずれか一つを明記すること。			90点		80点		※150点	※ 調査書（150点）
25	本 荘	普 通	明確な志願動機と働きながら学ぶ意欲を有し、高校で学習するための基礎的な学力と整容・態度等の基本的な生活習慣が身に付いており、右のいずれかを満たしていること。		○	150点		A～C		150点	※1 条件3で出願する場合は、学校独自の提出書類を本校のホームページからダウンロードし、就業記録等を記入して提出すること。 ※2 学力検査（3教科の検査得点の合計300点満点を150点満点に換算） ※3 面接はA、B、Cの3段階で評価する。 ※4 調査書（150点）
35	角 館	普通Ⅰ部 普通Ⅱ部	志願動機が明確で、基本的な生活習慣が身に付いており、各教科において標準程度以上の学力を有し、右の条件1又は2のいずれかに該当する生徒。			300点		25点		75点 ※	※ 調査書（75点）
37	横 手	普通Ⅰ部	本校への志願動機が明確で学習意欲に富み、整容や態度等の基本的な生活習慣が身に付いており、右のいずれかに該当する生徒。		○ ※1	300点		40点	40点 ※2		※1 学校独自の提出書類を本校のホームページからダウンロードし、必要事項を記入して提出すること。 ※2 作文（40点）
		普通Ⅱ部						40点	40点 ※2		
							300点		40点	40点 ※2	

〔別表3〕

## 2次募集における作文及び実技

全日制の課程

定時制の課程

### 【県北地区】

No.	学校名	学 科 名	作文	実技
1	花 輪	普通		
2	十和田	普通		
3	小 坂	普通	○	
		産業工学	○	
4	大館鳳鳴	普通		
		理数		
5	大館桂桜	普通		
		生活科学		
		機械		
		電気		
		土木・建築		
6	大館国際情報学院	普通	○	
		国際情報	○	
7	秋田北鷹	普通		
		生物資源		
8	能 代	緑地環境		
		普通		
9	能代松陽	理数		
		普通		
10	能 代 科学技術	国際コミュニケーション		
		情報ビジネス		
		機械		
		電気		
		建設		
		生物資源		
		生活福祉		

### 【中央地区】

No.	学校名	学 科 名	作文	実技
21	秋田工業	機械		
		電気エネルギー		
		土木		
		建築		
		工業化学		
23	秋田商業	商業		
24	御所野学院	普通	○	
25	本 荘	普通		
26	由 利	普通		
		理数		
		国際		
27	由利工業	機械		
		電気		
		環境システム		
		建築		
28	矢 島	普通		
29	西 目	総合学科		
30	仁賀保	普通		
		情報メディア		

No.	学校名	学 科 名	作文	実技
4	大館鳳鳴	普通	I部	○
			II部	○
8	能 代	普通		
22	秋田明徳館	普通	I部	
			II部	
			III部	
25	本 荘	普通	○	
35	角 館	普通	I部	○
			II部	○
37	横 手	普通	I部	○
			II部	○

### 【県南地区】

No.	学校名	学 科 名	作文	実技
31	西 仙 北	普通		
32	大曲農業	農業科学		
		食品科学		
		園芸科学		
		生活科学		
		太田分校	普通	
33	大 曲	普通		
34	大曲工業	商業		
		機械		
35	角 館	電気		
		土木・建築		
36	六 郷	普通		
37	横 手	福祉		
		普通		
38	横手城南	普通		
39	横 手 清陵学院	理数		
		普通		
40	平 成	総合技術		
41	雄 物 川	普通		
		総合ビジネス		
42	増 田	総合学科		
43	湯 沢	農業科学		
		普通		
44	湯沢翔北	理数		
		普通		
		総合ビジネス		
45	雄 勝 校 羽 後	工業技術		
		普通		

### 【中央地区】

No.	学校名	学 科 名	作文	実技
11	五 城 目	普通		
12	男鹿海洋	普通		
		海洋		
		食品科学		
13	男鹿工業	機械		
		電気電子		
14	秋 田 西	設備システム		
		普通		
15	金足農業	生物資源		
		環境土木		
		食品流通		
		造園緑地		
16	秋 田	生活科学		
		普通		
17	秋 田 北	理数		
18	秋 田 南	普通		
19	秋田中央	普通		
20	新 屋	普通		

〔別表4〕

## 一般選抜学力検査における傾斜配点実施校

令和4年度一般選抜学力検査において、傾斜配点を実施する学校はない。

# 調 査 書

様式 A (A3-横)

1 学籍等の記録					
ふりがな 氏 名		性別	卒業等	学校	
				令和 年 月 日 卒業見込み・卒業	
生年月日	平成 年 月 日生		志願校名	高等学校	
			受検番号	全・定	

2 各教科の学習の記録							
教 科	観 点 別 学 習 状 況				評 定		
	観 点	評価 (3年)			1年	2年	3年
	A	B	C				
国 語	知識・技能						
	思考・判断・表現						
	主体的に学習に取り組む態度						
社 会	知識・技能						
	思考・判断・表現						
	主体的に学習に取り組む態度						
数 学	知識・技能						
	思考・判断・表現						
	主体的に学習に取り組む態度						
理 科	知識・技能						
	思考・判断・表現						
	主体的に学習に取り組む態度						
外 国 語 (英語)	知識・技能						
	思考・判断・表現						
	主体的に学習に取り組む態度						
小 計 (1)							
音 楽	知識・技能						
	思考・判断・表現						
	主体的に学習に取り組む態度						
美 術	知識・技能						
	思考・判断・表現						
	主体的に学習に取り組む態度						
保 健 体 育	知識・技能						
	思考・判断・表現						
	主体的に学習に取り組む態度						
技 術 ・ 家 庭	知識・技能						
	思考・判断・表現						
	主体的に学習に取り組む態度						
小 計 (2)							
合 計 (1) + (2)							
調 整 評 定 値 (1) + (2) × 2							
定 時 制 調 整 評 定 値 (1) + (2) × 2 + 社会 + 理科							

選択教科 (3年)	教 科	主 な 学 習 内 容	評 定	教 科	主 な 学 習 内 容	評 定

各教科の学習の特記事項						

	学校	氏名	
--	----	----	--

3 総合的な学習の時間の記録	
主 な 学 習 活 動	評 価

4 特別活動の記録	
項 目	事 実 の 記 録
学級活動	
生徒会活動	
学校行事	

5 体育的・文化的・奉仕的活動等の記録	

6 出欠の記録			
学年	授業日数	欠席日数	欠 席 の 主 な 理 由
1			
2			
3			

7 その他の事項	

この調査書の記載事項に誤りのないことを証明する。		令和 年 月 日
学校名		
校長氏名		
記載者職氏名		

※ 学 力 検 査 の 成 績						
検 査 得 点						備 考
国 語	社 会	数 学	理 科	英 語	合 計	

※印の欄は記入しないでください。

# 調 査 書

様式B (A3-横) (令和3年3月以前の中学校卒業者に適用)

1 学籍等の記録					
ふりがな 氏名		性別	卒業等	学校	
				令和 年 月 日	卒業見込み・卒業
生年月日	平成 年 月 日生		志願校名	高等学校	
			受検番号	全・定	

2 各教科の学習の記録							
教 科	観 点 別 学 習 状 況				評 定		
	観 点	評 価 (3年)			1年	2年	3年
	A	B	C				
国 語	国語への関心・意欲・態度						
	話す・聞く能力						
	書く能力						
	読む能力						
社 会	言語についての知識・理解・技能						
	社会的事象への関心・意欲・態度						
	社会的な思考・判断・表現						
	資料活用の技能						
数 学	数学への関心・意欲・態度						
	数学的な見方や考え方						
	数学的な技能						
	数量や図形などについての知識・理解						
理 科	自然事象への関心・意欲・態度						
	科学的な思考・表現						
	観察・実験の技能						
	自然事象についての知識・理解						
外 国 語 (英語)	コミュニケーションへの関心・意欲・態度						
	外国語表現の能力						
	外国語理解の能力						
	言語や文化についての知識・理解						
小 計 (1)							
音 楽	音楽への関心・意欲・態度						
	音楽表現の創意工夫						
	音楽表現の技能						
	鑑賞の能力						
美 術	美術への関心・意欲・態度						
	発想や構想の能力						
	創造的な技能						
	鑑賞の能力						
保 健 体 育	運動や健康・安全への関心・意欲・態度						
	運動や健康・安全についての思考・判断						
	運動の技能						
	運動や健康・安全についての知識・理解						
技 術 ・ 家 庭	生活や技術への関心・意欲・態度						
	生活を工夫し創造する能力						
	生活の技能						
	生活や技術についての知識・理解						
小 計 (2)							
合 計 (1) + (2)							
調 整 評 定 値 (1) + (2) × 2							
定 時 制 調 整 評 定 値 (1) + (2) × 2 + 社会 + 理科							

選択教科 (3年)	教 科	主 な 学 習 内 容	評 定	教 科	主 な 学 習 内 容	評 定

各 教 科 の 学 習 の 特 記 事 項

	学校	氏名	
--	----	----	--

3 総合的な学習の時間の記録	
主 な 学 習 活 動	評 価

4 特別活動の記録	
項 目	事 実 の 記 録
学級活動	
生徒会活動	
学校行事	

5 体育的・文化的・奉仕的活動等の記録	

6 出欠の記録			
学年	授業日数	欠席日数	欠 席 の 主 な 理 由
1			
2			
3			

7 その他の事項	

この調査書の記載事項に誤りのないことを証明する。 令和 年 月 日

学校名

校長氏名 印

記載者職氏名 印

※ 学 力 検 査 の 成 績						
検 査 得 点						備 考
国 語	社 会	数 学	理 科	英 語	合 計	

※印の欄は記入しないでください。



令和3年9月16日

秋田県教育庁高校教育課

〒010-8580 秋田市山王三丁目1番1号

TEL 018-860-5165

FAX 018-860-5808